

宇宙の風 — 宇宙からのメッセージ — 第二卷

一一一、田池留吉、アルバート、その宇宙に心を向けます。

はい、私の中に、田池留吉、アルバートの宇宙が、喜びとともに広がっていきます。温もりの世界があります。広く、広く、広がっていく喜びの世界があるんです。

お母さんは、その中で待っています。お母さんの温もりが、私の中に広がっていきます。私の中の宇宙を包んでくれています。

私は、こうやって、母の温もりの中に、温かい、温かい温もりの中で、安らいでいたことを、ずっと、ずっと昔、昔、そうだったんですね。

はい、今、宇宙に向けて瞑想をしていくと、その時のことを心に蘇らせることができます。宇宙は、こんな中にありました。私の宇宙は、こんな中にありました。

母の温もりの中にあっただんです。もともと、大きな、大きな母の愛の中に包まれていた、それが私の宇宙でした。

何も思うことは要らなかった。何も思わなくてよかった。

ただただすべてを預けられる喜び、幸せがありました。そんな中に、私の宇宙、私はありません。

一・二、私は、宇宙に向けて発信しています。喜びのエネルギーを宇宙に向けて発信しています。心の中にある喜び、喜びの波動、その思いを、ただただひたすらに、宇宙に向けて発信していくエネルギーです。

宇宙は変わっていきます。変わっていくことを楽しみに待っている私です。私の中の宇宙、そしてともに、ともに歩みを進めてくれる宇宙、その宇宙に向けて発信している私の大きな、大きな喜びです。

頭脳を誇ってきた地球人類こそ、一番愚かな生物です。そんな愚かな自分達に、どこで、いつ気付いていけるか、これからの時を要します。

大きな天変地異とともに、自分達の愚かさ気付いていくのです。

頭脳を誇ってきた地球人類、そして、ブラックパワーに心を寄せてきた地球人類、すべてが崩壊していく時を体験していくのです。

これから、本当に大変な時間を経っていきます。宇宙が変わっていくということは、そういうことです。

宇宙からのエネルギー、宇宙へ向けるエネルギー、すべてがひとつの方向に向かって、突き進んでいきます。その中に心を向けていけない限り、宇宙のもくずとなって、さ迷い続ける

のです。あまり、このことは、強調したくありません。しかし、私の心に響いてくるのは、その事実です。

宇宙全体、すべての意識達に、メッセージを発信しています。そのメッセージを受けて、ともに歩みを進めていけるかどうかは、それぞれにかかっています。

一一三、二五〇年後に照準を定めて、私の世界は広がっています。次元移行へ真っ直ぐに突き進んでいくために、二五〇年後、アメリカの地に再び肉を持つてくる、その予定のコースを、今、思います。宇宙に向ける瞑想から、そのところが、はっきりとしてきます。

アメリカは、もうすでに荒廃しています。荒れ果てた土地、その中で、人々の心は、本当に荒れ狂っているんです。自分達の欲望の渦の中に、自らを沈めていったその結果を、アメリカの地は、はっきりと表しているでしょう。

その頃は、確かに色々な面で、目覚しい発展があります。しかし、その一方で、人々の心は、もう、地に落ちていきます。狂いに狂っているそんな中に、私達は、肉を持つてきます。

もちろん、私も、ひとつの肉を持ち、自分の中の闇に飲み込まれそうなエネルギーの中で、

毎日を過ごしているのです。

その中から、ようやく、自分の喜び、本当の自分の姿、それを蘇らせていくひとつの出来事があります。

その出来事をステップにして、私の心は、宇宙へ大きく羽ばたいていきます。

宇宙に向けるエネルギー、その喜びの波動、喜びのエネルギーは、私の中に真つ直ぐに入ってくるのです。そのエネルギーは、私の中で、爆発していきます。

その爆発した喜びのエネルギーが、アメリカの地から、この地球上、宇宙全体に発信していくのです。

それは丁度、今世、この日本の国から喜びのエネルギーが発信されたのと同じです。もちろん、その規模は、当然違っていますが、その様子が、私の中には、はつきりと今、蘇っています。

田池留吉、アルバート、その意識の中で、私達は、喜び爆発をしていく、そんな予定のコースを私は、着実に歩みを進めています。

心を感じる確かな足取り、これは、どんなに、私が、言葉を連ね、こうですよ、ああですよと伝えても、それぞれの心で、はつきりとしたものを感じない限り、結局は、絵空事でしょう。やはり、肉の中に、埋没していくこれからでしょう。特に、田池留吉が死んで、時間が経

つていけば、肉の中に舞い戻っていくそんなコースを辿っていく人達も、数多くあると思います。私は、それでもいいんです。自分の中に感じた真実の世界、その世界を真っ直ぐに見つめ、これから二五〇年を過ごしていきます。そして、再び肉を持ち、この思いを宇宙に向かって発信していく、そんな私を、ただただ楽しく、嬉しく見つめています。

一一四、三億六千年、母の意識から、ひとつの肉をいただいて、真実を追究してきた私でした。今世、ここによくやく、真実は自分の中にあつたという思いを、確立しています。

私は、真実でした。真実は私自身でした、そんな喜びの思いが、沸き起こってきます。宇宙の中に私は、ありました。宇宙の中に、私は、喜びで、喜びで自分を広げていける、そんな私があつたんです。

今、心を向ける時、宇宙に心を向ける時、間違いのない真実の世界を心に感じます。

どれだけ間違い続けてきて、狂ってきて、そして、ブラックに成り果ててしまっても、今、ここに、私は、自分の中に真実があつた、お母さんの温もりが心にあつた、そんな私に蘇っています。

これからの二五〇年、三〇〇年、私は、この思いを、広げていきます。

自分の中で、大きく育てていきます。私から流れる波動、宇宙全体に広げていける喜びを、ただただ伝えていきたいです。

天変地異を起こしていきます。喜びのエネルギーが、天変地異を起こしていく、気付きなさいとの、促しを、何度も、何度もしていきます。

すべての意識達とともに、次元を超えていきたいと思っっているからです。

一方、その思いを、素直に心に受け止めていけない思いも、もちろん感じています。私は、心を、ただただ真実に向け、喜びを広げていきたいです。

三億六千年、肉を持ち続け、ようやく、本当の宇宙、自分の宇宙に帰れる、そんな喜びに沸いている意識の世界、そんな世界を、今、感じていきます。

一一五、どうぞ、皆さん、その肉を持っている間、しっかりと学んでいきましょう。自分の勉強をしていきましょう。そのために、私達は生まれてきたのです。そのために、肉を持つてきたのです。今世の時間を大切に学んでいきましょう。それぞれが選んでいくことだけれど、私は、そのことを、とにかくお伝えしたいです。

自分の持ち時間を大切にしてください。肉を持つている時間を大切にしてください。

これからの時を思うとき、そう言わざるを得ません。

あなた自身の学びです。どうぞ、その思いを心に広げ、肉の時間の許す限り、心を向けていってください。あなた自身に、心を向けていってください。

はい、そして、宇宙に向ける瞑想を、喜んで、喜んで続けていきましょう。宇宙が分かるということは、どれだけすごいことなのか、それを心で感じていってほしいと思います。

宇宙が、心で感じてくれば、どれだけの間、愚かなことを繰り返してきたか、自分の心に必ず伝わってきます。

頭など動かさなくていいんです。ただ心が応えてくるんです。ああ、私は、間違っていた、愚かだった、本当に愚かだった、長い、長い間、待っていていたんだなあ、そんな思いが伝わってきます。

それはもう、何の理屈もありません。ただただ、心に伝わってくるんです。

それが分からなくなってしまった自分があったんだ、ただ素直にそう思ってください。

すべてが待っていてくれました。母の意識が待っていてくれました。

これからも待ち続けていてくれるでしょう。その思いに、何としてでも応えていこう、そのように、心を向けていってください。

肉を持っている時間、どうぞ、あなたの学びをしていってください。

一一六、田池留吉、アルバートに向けて、宇宙を呼んでみてください。

田池留吉、アルバート。田池留吉、アルバート。

確かに、確かに、田池留吉、アルバート、その中にある私を感じます。

この思いを、どんどんどんどん広げていく私を感じます。これからの私から流れる波動の世界、私は、自分の中から、このような世界が、本当に広がっていくことを、今、心に感じています。

私のこれからの思いを語ります。

心の中に、田池留吉、アルバートを信じていこうとする意識達に、私は、本当に心から呼びかけたいです。

その方向に心を向けてくださいと、本当に信じようとする意識達に向けて、思いを伝えたいです。

どうぞ、どうぞ、心を向けていきましょう。

私達の帰る喜びの宇宙へ心を向けてまいりましょう。

田池留吉、アルバートの指し示す方向、私は、その方向に向いています。

どうぞ、あなた達も、その方向に向かって進んできてください。

すべての意識達に語っています。ただこの思いを受けていけるかどうか、それは、それぞ
れのことなんです。

田池留吉、アルバート。

この波動の世界を心を感じていきなさい。心にどんどん伝えてまいります。

波動を伝えます。真実の喜びのエネルギー、それは、すべての意識達に存在するものです。
その方向を、私は、指し示していきます。

田池留吉、アルバート。心を向けた私から流れる波動は、その方向を向いています。

私達は、ひとつ。はい、田池留吉、アルバートの宇宙は、そのように伝えてきます。私は、
その中にいます。私の宇宙から流れるものは、明るい喜びのエネルギーです。どうぞ、心をと
もに向けていきましょう。

心の中から、この思いを伝えたいのです。どうぞ、向けていってください。素直に向けていってください。

私は、肉で語っているではありません。

私の心の中から流れる波動を感じてほしいのです。肉ではありません。肉は愚かです。肉はちっぽけです。しかし、私の意識の世界は、とてつもなく大きいのです。

私は、その大きさを、これから、どんどんどんどん表していきます。

肉を表すではありません。意識の世界を、そのまま肉を通して流していくのです。田池留吉、アルバート、その世界を私は、流してまいります。

一七、ブラックのエネルギーが、そうでないものともあつたエネルギー、温かくて広くてすべてを包み込むエネルギーとひとつに溶け合うには、まさにその質を変えなければなりません。ブラックのままだと、決して交じり合うことはないのです。

このことはお分かりでしょう。水と油は、絶対に分離します。

さて、その質を変えていくには、まず、今のエネルギーがブラックであると知らなければ

なりません。いいえ、その前に、自分からエネルギーが流れている、自分はエネルギーそのものだとすることに気付いていかなければならないでしょう。

その手段が心を見るということでした。どんな心を使ったかを振り返りながら、自分のエネルギーを感じていく、この手っ取り早い方法が、以前セミナー会場で行われてきた、いわゆる闇出し現象というものでした。

ここで、自分のエネルギーを心で感じてこられた人達は、ほとんど正しい瞑想を積み重ねていけば、あとは自分の心で分かってくるとお伝えしています。それが、まだまだという自己評価ならば、それは、ただ自分の怠慢だけです。

自分の間違いに気付いていく大きなチャンスは、あの当時、ゴロゴロ転がっていました。そんな幸せな時間と空間の中に、自分をいざなえたのです。あと、何を求めているのでしょうか。さて、それでは、その闇出し現象に参加できなかった人達、つまり、その時期には、まだこの学びに集えていなかった人達にとっては、今の説明からすれば、この学びは、少し、難しいというか、不利なように感じられると思います。私は、決してそうではないと思っています。闇出し現象を体験することは、確かに自分を知っていく上で、非常に効率がいいです。しかし、それを、自分のそれからの存在の仕方に、どのように活かしていくかということとなると、話は別だからです。

要は、どの時点で、自分と真向かいになっていこうとするかです。そして、その転機は、必ず、どなたにも公平に訪れるのです。

闇出し現象に参加された人も、していない人も、いいえ、今世、学びに集ってきた人も、そうでない人も、みんなに公平に、天変地異の配分があるこれからです。

その中で、いかに、自分を知っていくか、意識の流れは、もうそのような段階に來ています。

一一八、学びの最初は、言葉です。言葉からこの学びに入ってくるでしょう。

そして、意識という世界を知っていくのに、チャネリングは、確かにその効用はあります。

最初は、言葉を聞いて、肉で納得する、それは必要でしょう。

しかし、それも、もう私の中では、今は昔という感じがあります。

異語で通じ合う世界、もうそれでいいのです。

田池留吉、アルバートの宇宙を思い、ただ、この波動を感じていけばいいだけでした。それが、本来のチャネリングでした。

言葉は、言葉ではなくて、言葉は、波動でした。波動の世界でした。

私は、今、たくさんの意識を受けてきて、そのようにはつきりと感じます。

波動がすべてです。そして、言葉は形ではなく、波動なんだと心感じていくにつれ、自分の中が、本当に広がっていくのを感じます。

心が、広がっていく、これが私でした。

心の広がり、温もり、温かい温もりの中に、どんどん広がっていく幸せ、喜び、波動がすべてでした。それがチャネリングです。

そして、宇宙をチャネリングすると、こうです。

宇宙は波動でした。宇宙は喜び、宇宙は苦しみではありません。宇宙は闘いでもなく、宇宙は真つ黒でもなかったんです。

宇宙は、ただただ喜びでした。

どこまでも広がり行く喜びの世界、そんな世界を、今世、心に広げることができ、とても幸せです。

この喜びの宇宙、私は、どんどん心に広げていきます。

一一九、すべては、自己評価、自己採点です。自分の学びです。自分の心を見て、自分で評価

していく、自分で、そうすべてを決めていきます。心を見ることが第一です。

意識の転回、自己確立、次元移行、すべては自分の中の出来事です。

私は、今回のUTA会セミナーで、そのように感じさせていただきました。

そして、すごいエネルギーを感じれば感じるほど、自分の中の確かな思いを感じます。それは、もちろん喜びのエネルギーとなって、流れていきますが、そこには、自分の大きな、大きな決意があったこと、そして、何にも優る宇宙を目指す思いがあったこと、その思いを、私は、確認させていただきました。

生半可な思いで、この学びはできないことを、私は、ずっと以前から伝えてきました。

その思いも、今回の宇宙に向ける瞑想で、しっかりと確認させていただきました。

自分の中のエネルギーを、しっかりと見ていく、これは生半可な思いでは、絶対にできないことが、心に響いてくるのです。

すごいエネルギーを蓄えて、宇宙、そして、三億六千年と時間を経てきました。

それが、あと二五〇年、三〇〇年という僅かな時間を残す、そういう時期に来ていることを、しみじみ心で感じさせていただいたセミナーでした。

すべては、自分の中の出来事、自己評価、自己採点、誰が決めるのでもなく、自分が決めていく道筋を、私は、しっかりと心で感じ、今、たった今から、また私の新たなる一歩が始ま

ります。

次元移行は、私の中で約束された出来事です。宇宙とともに、次元を超えていく、すべては決められた道筋です。そのことは、すでに自分の中で確立している事柄です。だから、これからも、淡々と、そして、喜んで心を見ていくだけです。

一一〇、宇宙に向ける瞑想をすればするほど、私の中の喜びは大きくなっていくでしょう。

宇宙に向ける瞑想が、私に、確かな道筋を示してくれるからです。

私は、田池留吉、アルバートの指し示す方向より、心がズレることがないことを確認するために、ますます心を宇宙に向けていきます。

心宇宙に向けることによって、母の温もりが、心にどんどん響いてくるのです。だから、私にとって、もう宇宙は、苦しみではありません。

ただただ、自分の中の喜びと出会っていく道筋に、宇宙が広がっています。

私は、宇宙とともにただひたすら真つ直ぐに歩みを進めていくだけです。

私には、誰がとかそういう思いはありません。肉の私は、あの人もこの人も、みんなが心を宇宙に向けて、自分を知っていけばいいけれど…、と思うだけで、もう意識の流れは、そう

いう次元でないことは、私自身、十分に承知しています。

離れていく意識は離れていくし、しかし、それは、ほんの狭い世界でのことです。

二五〇年後に出会う宇宙の意識は、すでにもう喜びで待機しています。

その宇宙とともに次元を超えていくプログラムは、私の中で成立しています。だから楽しいし、そして、ただ楽しいだけでなく、現実には広がっていくこれからの時間を感じ、すべては整った状態に、ただただ感謝しかありません。

一一一、田池留吉、アルバート、心をひとつに集中できる私の今の環境に感謝です。

宇宙に向けて瞑想を続けていける環境、その時間と空間はすべて、私が、ここに肉を持つてきた約束、自分との約束でした。

心置きなく、私は、これからの肉の時間、残された肉の時間、しっかりと自分を見つめていきます。

心を宇宙に向け、田池留吉、アルバート、その意識に心を合わせ、私は、自分の肉の持ち時間を過ごしていきます。

私には、その思いしかありません。肉をどうこうする思いがありません。

肉の生活は整っています。今世の私には、肉のしがらみがありません。そういうふうに設定してきました。来世もちろんです。

肉のしがらみを、できるだけ少なくして、私は、ただただ宇宙とともに次元を超えていく、そのプログラムの中で、自分に与えられた時間、喜んで、喜んで、この三次元とともに、過ごしてまいります。

宇宙が私を呼んでいる。はい、心の中に宇宙を思う時、宇宙が私を呼んでいることを感じます。もう三次元の私の時間、すべては宇宙に向かって突き進むことを感じます。

それが今世の出会いでした。田池留吉との出会いでした。田池留吉、アルバートの意識との出会いでした。二五〇年後の来世へと続いていく時間、すべてがこのひとつに集中している、それが私のプログラムでした。

喜びです。こんなにすごいプログラムを組んできた私の中には、ただただ喜びが広がっていきます。

何も要らない、何も要らないけれど、すべてが整っている、私にはすべてが整っています。今世の私は、ただひたすら心を集中できる環境を整えています。

そして、二五〇年後の来世、自分の中のエネルギーを噴き出すために、用意してきた環境、そして、その後もすべてが宇宙に進んでいくために、整えられている環境、本当に何の狂いも

なく、私は、意識の流れに、ただすべてを任せていけばいいだけです。

田池留吉、アルバート。出会いがすべてでした。

出会い、目覚め、進化、数限りない苦しみの時間の中で、今世、そうはつきりと、自分に伝えられる今があることに感謝です。

一三二、過去の宇宙を思い、未来の宇宙へ思いを馳せる、すべてがひとつになって、喜びの宇宙を思う、宇宙に向ける瞑想は、だから嬉しい、だから喜ぶんでしょう。

今世の肉が、来世の肉とひとつになって、宇宙を思っている、そんな感覚の中で、宇宙を思いながら、これからの時を経ていくんだなあと思う時、私は、やはり何とも言えない喜びを感じます。

宇宙へ帰っていく意識、そんな思いがふつふつと沸き起こってきます。

宇宙という意識の世界、果てしなく広がり、どこまでも温かい、ただただ温かい、そんな中に帰っていく意識、ひとつに溶け合っていく意識、その世界だけが、自分の真実だったと、心に響いてきます。

自分の宇宙に心を向ける、それは真実に心を向けることでした。

私は宇宙、宇宙は私でした、その思いとともに、次元を超えていく、そこには、ただただ喜びしかない、そんな瞬間が用意されている、それが私の中の宇宙、その真実でした。

一三三、宇宙を思う時、確かなる意識の流れを感じます。意識の流れの中にある宇宙の喜び、その喜びは、すなわち次元移行を指しています。

宇宙は、次元移行を指しています。

意識の流れは、次元移行なのです。次元移行を遂行するために、今世の時間がありました。それぞれが、それぞれの心を繋いでいくために、今世の時間を用意したのです。

それぞれの転生に、心を繋いでいってください。

次元移行を、自分の中で必ず遂行していくように、心を繋いでいく、そのために、今世の学びをしてきたのです。

宇宙に思いを向けると、そのことが、鮮明に心に浮かび上がってくるはずですよ。

田池留吉、アルバート、その意識の世界は、すべて次元移行を指しています。

肉という形を持つ意識、この三次元で自分のエネルギーを確認し、そして、そのエネルギーを、意識の流れの中に融合していく、そんな壮大な計画が、まさに、遂行されるのです。

自分の中の宇宙とともに、歩いていくのです。心の中に宇宙を広げていってください。宇宙という意識の世界を、どんどんどんどん感じていってください。

どうぞ、どうぞ、自分の宇宙と、異語で語り合い、そして、心を通じ合わせていってください。私達は、今、確かな時間の中にあります。意識の流れを心に伝えていく確かなる道筋を、自分の中に作っていってください。

一二四、自分と自分の中で学んでいくこと、自己確立がとても大切なことを伝えました。

自己確立です。次元移行、その前に自己確立です。まず自己確立です。

自己を確立することが先決です。

自己確立のできていない意識、その意識は、どんなに何を感じても、やがて時間が経つにつれて、元の状態に戻ってしまいます。

意識の世界の厳しさです。意識の世界を本当に信じていくというか、意識の世界こそが本当の自分の世界なんだという確信、それは自己確立があつてこそ、その確信に繋がっていきませんが、それ以外は、所詮、肉が基盤の意識の世界です。

自分の中で確立したものがなければ、いわゆる中心棒がなければ、とても、二五〇年後に

出会うとか、次元移行とか、そういう段階ではありません。

それほど、これからの転生における時間は厳しいのです。

といって、この学びは、修行ではありません。

私は、自分なりに、肉を楽しませています。しかし、その楽しさ、喜びは、私の本当の思いが基本にあつての楽しさであり、喜びです。

私は、何のために肉を持ってきたのか、その答えを心で知っています。

その心がこれからの私のすべてを決めていくことも知っています。

それが意識の流れであることも知っています。

自己確立をしてください。自己確立とは、どのようにしていけばいいのでしょうか。

それを、これからそれぞれが学んでいくべきだと、私は思います。

一二五、今、ホームページに触れている人達に、私は伝えたい。

どうぞ、ともに、ともに、瞑想をしていきましよう。

今という時、宇宙に向けての瞑想を、ともに、ともにしていましよう。

私は、日々、宇宙に向けて瞑想を続けています。

自分の中の宇宙と、異語で交信しています。

私は、宇宙など分らない、そうやって、あなたの肉で断ち切らないでください。

丹田呼吸をして、田池留吉を思い、そして、宇宙と試ってみてください。

ただし、欲の思いをしつかりと見つめながらです。

欲と学びは合いません。欲と真実の世界は合いません。

ただ、丹田呼吸をして、そして、今という時間を素直に喜んでいこう、そして、宇宙と心の中で呼んでみてください。

私は、いつもそのようにしています。自分の中の宇宙を呼んでいるんです。

お母さんが、私にこの肉をくれたことを喜びながら、私は、自分の中の宇宙と交信をしています。そして、すうつと、そちらのほうに思いを向けてみるんです。

あなたにも、きつと伝わっているんですよ。それを肉で遮断しているだけです。分からないと言っているのは、あなた自身が遮っているだけなんです。あなたの中の宇宙は、どんどん語っていると思います。

その思いを聞いてあげてください。お母さんが、あなたのことを受け入れてくれたように、あなたも、あなたの宇宙を受け入れていってください。

遙か、遙か、遠い過去より、さ迷い続けてきた自分自身に思いを馳せてください。

この地球上に、どんな思いでやって来たのか、瞑想を続けていくと、必ずその思いが、初めは微かかもしれませんが、心に伝わってくると思います。

そうした時、あなたは、あなたに伝えていくのです。

嬉しいね、これからいっしょに心に向けていこう、その思いを心に広げてください。

もちろん、異語で、どんどん語っていけば、何か分からないけれど、何か訴えているような、叫んでいるような、そんな感覚の中にあることを感じるでしょう。そうやって、毎日、心に向けていってください。

まず、丹田呼吸をして、田池留吉を思って、宇宙、そうやって心に向けてみてください。

一二六、学びは実践です。丹田呼吸、心を見る、瞑想をする、すべては実践です。

そして、肉のポイントをひとつ言います。

たとえば、田池留吉が、あなたに何か、こうしなさいと言ったことがあるならば、それは、実践してください。

それが、仮に肉のことであっても、肉のことではないんです。

肉のことであるとか、ないとか、学びに直結しているものであるとか、ないとか、そうで

はありません。

素直に、それを聞いていけるかどうか、ということは、それを素直に実践していけるかどうか、これが、非常に大切なことです。

実践していかないということは、どこかに素直になれない自分があるのです。自分の都合、解釈、そういった肉の部分で、自分が自分の行く手を遮っています。

それでは、この学びはできません。どんなに田池留吉に好意を寄せても、それは、やはり肉を基盤としているものです。

そして、その結果は、必ず、自分の身をもって証明されていきます。素直でなかった自分の心が、形となって自分に示していくのです。

田池留吉の言葉は、そういうものです。言葉であつて言葉でないのです。といつても、私にも何か言つてくださいというのは、全くの欲ですね。

田池留吉は、必要な時に、必要なことを、必要な人に語るでしょう。そして、本当は、それは、どの人に対しても語っているのです。

それが意識の世界、それが、今、私達が学んでいる意識の世界です。

一二七、宇宙に向ける瞑想より

ありがとう、ありがとう、ありがとう、ありがとう、ありがとう、ありがとう…。

宇宙から返ってくる思いはありがとうございました。

私は、自分の中の宇宙、はい、とても愛しいです。心に向けるたびに思っています。こんなに愛しい宇宙を、私は、本当に見捨ててきたんだなあ、そんな冷たい心に成り果てていたんだなあ、そう思います。

宇宙とともに、喜びへ戻っていく自分を思う時、心から、ありがとうの思いが伝わってきます。

田池留吉、アルバート、その中に私は、生かされていることを感じます。

心の中に響いてくるものは、ありがとうの思い、喜び、お母さんの温もりです。

宇宙を制覇してきた心に響いてくる母の温もり、確かな母の温もりの中に、私はありがとうの思いを返します。

母が伝えてくれました。お母さんの温もりを伝えてくれました。心の中に広がる思いは、ただただありがとうの思いです。

自分の中の宇宙、私自身を思う時、一番幸せな時間です。自分に優しくなれる一番幸せな時間です。

心に響いてくる優しさ、温もり、この思いこそが私だと感じていける時間です。

幸せを感じるのには、何も要りません。ただ自分を思えばよかったです。

喜びの思いが、異語とともに出てきます。

今日も一日、幸せな時間を過ごさせていただきました。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。

一二八、今世、こうして肉をいただき、宇宙を思えることが、何と言っても最大の喜びです。

私は、私を見つめたいから生まれてきたことが、宇宙を思う瞑想により、深く心に響いてきます。

肉は、肉の中にあっても、私は、宇宙の中にある、ふっとした瞬間、瞬間、私の心は、そこへ飛んでいきます。

そして、目を閉じれば、もちろん宇宙に直結しています。

だから、瞑想は嬉しいです。宇宙を思える瞑想は嬉しいです。

何も思わなくてもいい、みんな私の心は知っているからです。

確かに、意識の世界は無限です。どこまでも、どこまでも永遠に続いていく世界です。

そして、それが自分自身だと、ほんの少しでも垣間見ることができると、今世の大き

な出来事です。

もうまもなく、日本の国は言うまでもなく、地球全体が、非常に騒がしくなっています。宇宙へ発信するエネルギーを受けて、宇宙全体が呼応してくるからです。

私は、宇宙を思います。宇宙を思い続けて、これから二五〇年という時間を過ごします。

そして、再び肉を持ち、さらにそのエネルギーを増し、天変地異とともに次元を超えていきます。

喜びで次元を超えていくというはつきりとした道筋が、私の中に広がり感じられる瞑想の時間は、私にとって、本当に幸せな時間です。

一二九、温もりに背いてきたからいいんです。すべてを捨て去ってきたからいいんです。

中途半端な闇では、喜びも中途半端です。

徹底的に闘ってきたから、その闘いの空しさ、心の寂しさが痛烈に響いてくるのです。

宇宙に向ける瞑想で、何が幸せか、何が喜びかと言えば、そういうようなことが、心の底から突き上がってきて、そして、それをすべて包み込んでいる自分を感じられる、だから、宇宙と思えば嬉しい、何とも言えず嬉しい、ただそれだけです。

汚しに汚しまくってきた宇宙、それを知れば知るほどに、喜びが爆発します。だから、私は、宇宙に向けて、ただひたすらに瞑想を重ねています。

思えばいい、宇宙と呼べばいい、心に伝わってくる思いは、私自身の温もりと優しさです。私だから、私の中から出てくるものだから、もうそれは信じられるのです。

闇が光に変わる、思いを向けていけば、どんどん闇が光に変わる、伝わってくる思いは喜びだけ、今世の時間、こんなことが、自分の中で起こりました。

今世、私は、私の中で天変地異を起こしました。

やがて、この天変地異は、宇宙全体に広がっていきます。

どうぞ、皆さん、本当に田池留吉と出会ってください。

出会えば、闇は光に変わります。そして、闇が光に変わっていく時、大きなエネルギーが流れ出すのです。そのエネルギーが天変地異を起こしていくのです。

一三〇、奇麗事では済まされない、徹底的に闇を吐き出さない限り、真実の自分と出会うことなどできない、宇宙の闇は深遠です。

だから、これから想像を絶する規模の天変地異と遭遇していくのです。

地球人類の意識の世界は、墮落してしまっています。

母の温もりを捨て去った、本当の自分を捨て去ったということは、本当にどれほどの闇なのか、どれほどの愚かなことなのか、自分に知らしめるチャンスがあるのです。

これまで、三億六千年、どんなにしても分からなかったことが、ようやくここにきて、自分の中で明らかになってきた世界です。

どんなに地を這い、地獄の奥底に喘ぎ苦しんできた意識であったか、私は自分の歴史を心で知っています。

すべてをかなぐり捨てて、今世に賭けてきた思いは、その現れです。

来世もちろん同じです。今世と来世の肉の時間が、私には、何としても必要だったので、真実を自分に伝えるために、宇宙を大きく転回させるために、私は、大きな決意をして、すべてを用意してきました。

この思いが、真実に目覚めさせるのは当たり前のことでした。それほど決意です。

真実に目覚めるために、肉を持ってきたから、それが叶わない限り、私は、宇宙のもくずとなつて、永遠にさ迷い続けていたことでしょう。

それは、皆さんも同様です。

これからの転生の中で、宇宙のもくずとなつていくかどうか、今世、学びに出会ったから、

少々のものを感じたからといって、決して、そんなに暢気にはいられない、それほど、自分が培ってきた宇宙の闇は深遠なのです。

宇宙に向ける瞑想で、どうぞ、そのことを確認しながら、どうぞ心を繋いでいってください。

一三一、宇宙に向ける瞑想、これは本当に大切です。

もちろん、その基礎に、田池留吉、アルバートに向ける瞑想がきちんと、自分の中で成立していなければなりません。

田池留吉、アルバートの意識を受けるなり何なりして、田池留吉、アルバートに心に向けていけるということが、大前提条件です。

そういえば、ずっと以前に、田池留吉の意識を三〇〇回受けなさいという学びの課題がありました。そういう過程も経て、今は、宇宙に心を向けていく学びです。

宇宙に思いを向ければ、おもしろいように出てきます。みんなは、それを闇、ブラックと言います。

確かに、闇、ブラックです。真実の世界と裏腹な思いです。

しかし、私は、それこそが真実を伝えてくれるエネルギーだと感じています。闇の思いは、

とても愛しいです。とても優しいです。そこから、そこはかたなく温もりが湧いて出てきます。それが、宇宙に向ける瞑想の醍醐味です。

深遠な宇宙の闇、その闇の世界に一石を投じ、そして、そこから、本当の自分が顔を出していく過程を、私は、ただ喜んで、喜んでいきます。闇は消える、そう偽物の闇は消えて、本物の闇、本当の思いが現れてくるのです。

それがこれから二五〇年、三〇〇年と続いていくのだから、こんなに楽しいことはありません。

そして、次元を超えても、真実に限りなく進化していく道は、永遠と続いていくのです。ただ、この三次元の世界に、一応終止符を打つだけであって、次元移行もまた、意識の流れの中の一過程に過ぎません。

その流れの中で、自分を知っていく計らいがある、これを喜ばずして、何を喜ぶのか、宇宙に思いを向ける時、そんな思いが伝わってきます。

一三三、意識の世界は、永遠に続く世界、私は永遠に真実に近づいていく意識です。宇宙は私にそのことを伝えてくれました。

長い、長い間時間と空間を超えて、より真実に近づいていくことを、自分の中で明らかにしてくれたのが自分の宇宙、その意識の世界でした。

意識の世界にゴールなどありません。

限りなく透明になっていくその過程を、喜びで通過していける喜びの中にある、温もりの中にあるのです。

ひとつの宇宙、母なる宇宙に帰っていける喜び、遙か遠い過去よりの切実な思い、私の宇宙が伝えてくるものは、その思いなのです。

私は、自分の意識の世界を、ただ感じたままを表現しています。

自分を過大評価もしなければ、過小評価もしません。

私は、私の宇宙とともに歩いていける、宇宙とともに存在していけることが、たまたま嬉しいし、それが私の喜びなのです。

田池留吉、アルバートの意識の世界を、私は、きちんと正確に感じています。

そして、私の肉も愚かなように、田池留吉の肉の愚かさも私は知っています。私はそれを踏まえて、きちんと心を向け、合わすことができます。

心を向ければ、何とも言えない温もりと優しさ、そして本当の喜びと幸せを感じます。そして、それは、私自身なんだ、まさに私はあなた、あなたは私、ひとつの世界を心に広げ感じ

ていると、言えるでしょう。

そして、私は、その世界の奥をさらに進んでいくことを、自分に約束しています。宇宙に向ける瞑想により、私は、それを感じています。

宇宙に向ける瞑想、宇宙を思うこと、私には最高に喜びの時間です。

一三三、ひとつひとつの積み重ね、ひとつひとつの学び、そしてセミナーの積み重ね、その実績が、私の中に、喜びの世界を広げています。

たくさんの実績を積み重ね、そして、それを自分の中で咀嚼そしゃくして、私は、私と向き合ってきました。

その歩みは鈍かったかもしれませんが、しかし、私は、自分の軌跡に非常に満足しています。

自分を見つめながらここまで歩いてきた道のり、そして、これからも、ただひたすら、自分を見つめながら自分とともに歩いていく道、こんな幸せな中に私はありました。

すべては自分が計画してきたことです。田池留吉、アルバートという真実の波動の世界と出会い、そして、その波動の中にあつた自分自身であつたことを、確認させていただいた今世でした。

宇宙に心向ければ、その喜びと幸せが、私に伝わってくるのです。

これがあなたですよ。あなたは宇宙とともにあるんですよ。あなたの中の宇宙をどんどん感じ、そして、伝えていきなさい。

心から、溢れんばかりの思いが伝わってきます。

宇宙と心向け、そして心を開いてくれるのを、待っていていた宇宙がありました。

私は、宇宙と語り合うことを喜びとしています。宇宙に思いを向けていけばいくほど、響いてくる思いは、ありがたうの思いです。

訴え、叫び、うめき、様々な思いも、みんな私は、私の中の温もりの中に帰してやれるのです。だから、嬉しい、だから、幸せです。

自分の中の宇宙、凄まじいエネルギーで温もりに背いてきた宇宙、その宇宙と真向かいになり、トコトン出させていた学びの時間に、今は、ただただ感謝です。

今は、その宇宙とともに生きていく術を心得ています。心向ければ、向けるほど、喜びが大きくなっていくことを知りました。

私の中に、確かなる波動の世界、真実の波動の世界を伝えてくれた宇宙にありがとうしかありません。

一三四、宇宙を思うことは、田池留吉、アルバートを思うこと、私の現実はそうなんです。宇宙を語ることは、田池留吉、アルバートを語ること、私の思いはそうなんです。

私は、田池留吉、アルバートに心を向け、私の宇宙に心を向けています。

だから、とても嬉しいです。心に広がる思いは、温もりの世界です。優しい、優しい波動の世界です。

そんな中に、私は、私の宇宙を思い、しっかりと心を向けています。

田池留吉、アルバートのメッセージを受けています。

私の中に優しい、優しい温もりの波動を感じながら、私の宇宙を思うこと、それが私の田池留吉、アルバートに心を向け、メッセージを受けているということなんです。

だから、宇宙に向ける瞑想の時間、とても大切にしています。私の喜びとしています。

宇宙を思う時、田池留吉、アルバートを思えます。そして、田池留吉、アルバートを思う時、私の宇宙が語ります。

宇宙は喜び、喜び、喜び、私は、これから二五〇年の間、こうやって、心を向けていきます。私の中に確かに広がっているこの世界、こうやって、宇宙を思いながら、二五〇年を待つのです。

そして、私は、再び肉を持ち、田池留吉、アルバートの意識とともに宇宙に思いを向けてまいります。

一三五、心を宇宙に向けて、瞑想を続けていくこと、今、肉を持ってそれをしていくこと、私にとつて、とても大きな意味があります。

これから二五〇年の間、私は、私の中で、この瞑想を続けていきます。肉があろうとなかろうと、私には関係がありません。

心を真実の方向に向けていくために、そう、宇宙のもとに帰る私の意識達、その意識達とともに、私は、心を向けていきます。

田池留吉、アルバート、真実の波動の世界は、宇宙を指し示しています。

母なる宇宙へともに帰りましょう、その思いの中で、私は、いつも、いつも、心に感じています。その波動の世界を、私は、これから二五〇年の間、しっかりと広げていきます。

その過程において、たくさんの宇宙の意識達がアクセスしてきます。

私は、その意識達に、心を向けていくのですと、今と同じ心と心の通信をしまります。宇宙へ帰ろう、喜びの宇宙へ帰ろう、そのために、私達は、今、出会っているのです。私は、

そのように伝えていきます。

これが、私の意識の世界です。

だから、私は幸せです。ようやく、ようやく、この世界に辿り着きました。

地を這い、地獄の奥底を這いずり回り、ようやく、私の中に、真実の光を見つけたのです。

私の喜びは、とても、とても言葉では言い尽くせません。

今世、この肉をいただき、その意識の世界に辿り着いたこと、私の中でひとつの大きなステップです。そして、そのステップをさらなるステップへと、私は、歩み続けます。

次元移行も、その流れの一環です。次元を超えて、私は、自分の中を、より真実に近づけていくために、私の中に喜びを伝え続けてくれていた宇宙へ、思いを向けてまいります。

長い、長い道のりでした。そして、これからも永遠に続いていく道のり、温もりとともに歩いていく道のりです。それが私の意識の世界です。

一三六、肉を離して、次の肉を持つまでの間、あつという間です。

二五〇年という感覚は、意識の世界にはありません。

宇宙とともに次元を超えていく、天変地異とともに次元を超えていく、その中で、地球人

類の意識の世界に、大きな変革のチャンスがあります。

最も真実から遠くに離れてしまった意識達に、変革のチャンスが用意されています。

宇宙の目覚めは、形を信じる意識の世界に、根底から揺さぶりをかけてきます。

二五〇年後に、なぜ再び、肉を持つのか、それは、このメッセージを発信するためです。

宇宙からのメッセージを発信していくために、私は、肉を必要とします。

来世の肉は、それを心で知った瞬間に、宇宙との交信が始まります。

肉を纏った私を、私は、はっきりと認識しながら、その肉を有効に使い、肉を持つ意識達、持たない意識達に、どんどん私を伝えていきます。

宇宙を思い、瞑想をすれば、心に響いてくる世界があります。波動の世界です。待ち望んできた真実の波動の世界です。

一三七、私は、私の勉強として、メッセージを語らせていただいています。

これまでもそうでした。核からのメッセージ、意識の流れからのメッセージ、その他、色々な項目で、実は、私は、私の勉強をさせていただいてきました。

前人未踏の道を、歩いていく思いでいます。私の中に確実にある真実の私とともに、三次

元という時間と空間を超えていく私自身です。

その私とは何なのか、瞑想をして、自分をじっくりと見つめる目は、限りない優しさと温もりの中にありました。

それが波動の世界でした。

目を閉じ、中の目を開く、かつては、そこから凄まじい勢いのエネルギーが飛び出してきました。

今は、その凄まじいエネルギーが、その目と出会った瞬間、温もりの中に、優しさの中に、溶け合っていく感覚を覚えます。

私は、来世に出会う意識達を、この地球上に、いいえ、宇宙全体に感じています。今世の出会いのない意識達との出会いを、私の意識の世界は、心待ちしています。

そのために、これから地球時間でいう二五〇年という時を必要とします。

大規模の宇宙的天変地異の中から、真実の波動の世界と出会っていく意識達との出会い、私は、それを楽しみに、これからも、自分と自分の中で、瞑想を続けていきます。

一三八、 田池留吉、 アルバートを思いながら生き、 田池留吉、 アルバートを思いながら死に、

そして田池留吉、アルバートを思いながら存在する、これだけが幸せと喜びの自分です。

今晩は、こんなメッセージが伝わりました。私が私に伝えてくれたメッセージ、私は、嬉しい、ありがたいの思いの中にありました。

瞑想は、喜びです。瞑想は、本当の私と出会う時間です。

私は、宇宙を思います。過去からの宇宙とともに、そして未来の宇宙とともに、今という時間に、私は、私の中の宇宙を思います。

粛々と流れていくこれからの時間を思います。

今は、いつもより少し長い時間をかけて瞑想ができます。

瞑想が大事なんだと感じます。時間をかけて心を向けること、思いを向けること、やはり、最後は瞑想しかないと感じます。

最後は、瞑想。心に響いてくる確かな波動、温もりと優しさ、そして広がり。心で感じた波動の世界だけが残ります。

一三九、身体は自由でも、心は不自由。本来は自由の心を持っていたのに、肉という形を持つたがために、自由な自分を縛ってしまいました。

また、身体が自由な時には、心の不自由な自分に気付かずにあります。

身体が、自由自在に動くから、心の不自由さなど、どこかに飛んでいってしまいます。

そして、身体が不自由になって、初めて心の不自由さに気付くのです。

気付くけれど、その不自由な心を、どのようにして、自由に、伸び伸びと広げていけばいいのか、とてもではないけれど、その術は分かりません。

自分を解き放つ、自分の縛りを自由にする、そこに何が必要なのか、知識でもそういうことを知っている人達は、本当に幸せです。

本当に、自分を解き放ち、自分の縛りを自由にできるかどうかは別として、その方向に、一生懸命生きていこうとすること、そこに、喜びと幸せな時間が広がっていきます。

肉を持って今ある時間の喜びは、自分を思い、瞑想ができることです。

自分を思い、瞑想ができる、こんな幸せはないと思います。

私の心の中には何もありません。ただ広がる世界、そしてこれからの喜びと幸せな時間と空間があります。

一四〇、宇宙に向ける瞑想より

異語で呼びかけています。たくさん宇宙達に、思いを向けます。異語で思いを向けています。たくさん宇宙達の意識を感じます。

心の中に、私は、たくさん宇宙達の意識を感じます。

心を宇宙に向けることは、喜び、それは、この宇宙にたくさん意識を感じるからです。

意識の世界は、広大です。無限に広がっています。心の中に、たくさん意識を感じます。

私は、それを宇宙と呼んでいます。宇宙には、たくさん意識達が存在しています。この心に、たくさん意識達を感じます。

私は、だから、こうやって、宇宙と語り合うことが喜びなんです。

私の肉は、そのためにありました。宇宙を知っていくために、この肉があつたのです。

たくさん意識達を感じる時、心の中に、溢れるほどの喜びを感じます。限りない広がり宇宙を感じます。ああ、それが私でした。

宇宙に心を向ける時、ただただ嬉しい、喜びです。

宇宙を思う瞑想、何にも代えがたい喜びがあります。

宇宙に向けて、私は、これからの時を思います。

たくさん宇宙達が、心にアクセスしてくるこれからの時です。ただただ温もりの宇宙へ帰りたいたいと心に向けてきます。

その思いが、とても愛しいです。とても愛しいです。

宇宙に向ける瞑想をする時、私の中に、安らぎと優しさと温もりが広がっていきます。その空間を感じます。

宇宙に向けて自分を語る時、心が大きく、大きく広がっていきます。

伸び伸びと広がっていく私を感じます。これが私の世界でした。

私は宇宙に向けて、大きく、大きく広がっていく自分を感じる時、本当に幸せです。宇宙を思う私の中には、何もありません。

だから、私は、宇宙に向ける瞑想をしてくださいとお伝えしてきました。

宇宙を感じられることが、最高に幸せなんです。

今、肉を持って、宇宙を感じ、最高に幸せを感じます。

田池留吉、アルバートも宇宙です。宇宙の中に、すべてがありました。

心の中に宇宙がありました。宇宙は、喜び、田池留吉、アルバート、そして、母なる宇宙、私の中に喜びを伝えてくれた波動の世界です。

私は、その波動を感じています。

田池留吉、アルバート、心を向ける時、私達は、この波動を伝えます。宇宙からのメッセージを伝えます。波動を伝えているんです。あなたの心の中に波動を伝えています。私達は波動です。ああそのようなメッセージを聞くことができます。

心の中に広がっていく波動の世界、私は、それを宇宙と呼んでいます。

宇宙に心を向ける瞑想で、私は、その波動の世界と出会っていきけるんです。だから、とても幸せです。私は、何も要らない。もう何も要りません。

ただこれからの時間と空間の中で、私は、この宇宙を思っています。

こうやって私は、時を過ごして、そして、次元を超えていき、さらなる宇宙へ進んでいくのです。私の心の中に、確実に広がっていく意識の世界、今、このように語らせていただけること幸せです。

一四一、私の中の宇宙の思いを語ります。

私達宇宙は、計画通り次元を超えていきます。喜び、喜びで次元を超えていきます。過去からの宇宙、すべてがひとつになり、私達は、次元を超えていきます。

心の中に、真実の波動を呼び起こし、そして、その真実の波動の世界をともに広げていくことを喜びとしています。

私達は、約束してきました。温もりの世界に帰ろう、そんな私達に、ようやくその時がやって来たのです。

今をおいて他にないと、私達は伝えました。心の中に宇宙を呼んでいきなさい。私達は、そのように呼びかけてきました。心を私達宇宙に向けてくれることを、待ち望んできました。

長かったですね。本当に長かった。ようやく、宇宙に思いを向けることをしてくれたこと、感謝です。

たくさん意識達が、待っていました。そして、これからも私達に呼応してくる意識達があります。宇宙は広いです。宇宙に思いを向け、心から温もりを伝えていけることを喜んでください。

次元を超えていくことを伝えました。あなたの中の宇宙、喜んでいきます。

温もりに背いてきた私達宇宙でした。しかし、私達は、自分の間違いに気付きました。温もりに背いてきた私達宇宙の間違ひは、私達の心からの叫びでした。宇宙に帰りたい心からの叫びでした。そのことに気付かせていただきました。

真実の波動に出会い、もう何も思うことはありません。ひたすら、宇宙に向けて、この思

いを発信していくだけです。宇宙に目覚めが起こり、その目覚めが、宇宙全体に広がっていくこれからです。すでに、私達は、そのことをあなたに伝えていきます。

心を私達宇宙とともに、真実の方向に向けるだけです。ただただそれだけです。私達の心の中に、喜びが、温もりが、幸せな世界がどんどん広がっていくのです。

波動の世界を、その奥深くを感じていけばいくほどに、温もりも、幸せも、広がりも、その厚みを増していきます。私達は、そのことを波動で伝えます。私達宇宙の思いを、波動で受けていってください。

一四二、宇宙を語ります。田池留吉、アルバートの宇宙とともに、宇宙が語ります。

この喜びを心に広げなさい。

私の中にそのような思いが伝わってきます。

宇宙は、喜び、そう喜びなんです。心をどんどん宇宙に向けていく時、喜びしか伝わってこないんです。

苦しい、苦しい、凄まじいエネルギーの宇宙を広げてきたあなた自身、それは、全くの偽物だったということを、あなたは、心で感じてきました。

これからの宇宙をどんどん心に感じていきなさい。真っ黒な、暗黒の宇宙、その宇宙とともに、喜びの、温もりの、広がりのある宇宙を感じていくこと、それが、これからのあなたです。心に広がる思い、その思いを信じていくこと、それがあなたの喜びです。

田池留吉、アルバートの宇宙を心に広げていくこと、どんどん広げていくこと、この波動の世界を心で感じていくことです。

宇宙が語ります。思いを向ければ、喜びの波動を感じます。

私には、この世界がありました。広がりゆく世界、それは宇宙でした。

一四三、私は、確かにこの世界に生きています。宇宙を思う時、異語が飛び出していきます。異語の世界に私は生きています。宇宙を思う時、とても、とても大きな喜びを感じます。

私は、確かにこの世界に生きています。はい、私は、そのことを、しっかりと心に広げています。

どれほど、この宇宙を待ち望んできたことか。心の中を覗いていけばいくほど、宇宙を待

ち望んできた自分と出会います。この出会いは、とても、喜びです。大きな、大きな喜びです。宇宙を待ち望んできました。遥かなる宇宙を目指して、私の意識の世界は広がっていきます。止め処もなく広がっていく意識の世界があります。

そこに待っているものは、ただただ優しい、優しい温もりの世界、波動の世界なんです。

止め処もなく溢れ出てくる涙の中で、ただただこの喜びを伝えてくれる意識がありました。私の宇宙でした。宇宙が私に、私の喜びを伝えてくれました。

心の中を覗いてごらん下さい。溢れるほどの温もりと優しさ、それがあなたですよ。しっかりと伝えてくれる私がありました。

私は、はい、今、次元を超えた私の世界が広がっていることを感じているのでしょうか。

何もありません。ただただ優しい、優しい温もりがあるだけです。この温もりの中を、私は、ただただずっと、ずっと存在していくのだと思います。

今、その喜びが心に伝わってきます。どんなに、どんなに喜びの世界であるのか、私の中は、まだまだ広がっていくと思います。

次元を越えていくことなど、私の中では、もう既成の事実なのです。

すべてがこの世界に集約されていく、私の意識の世界、すべてがこの世界に集約されていく、私の中に広がっていく、それは温もりの世界です。

はい、宇宙に心を向ける時、たくさん意識達が心に伝わってきます。

私は、異語で応えています。私は、異語で伝えています。

私達の喜びを伝えています。温もりを思い出していきたいなさい。そのように異語で伝えています。異語が飛び出してきました。異語で応えています。

意識達に思いを向けています。心の中にどんどんどんどん感じます。

異語で思いを向ける時、心の中に思いを感じます。

遙か、遙か、遠い、遠いところから、私達にアクセスしてくる意識達。その意識達の思いを、どんどんどんどん感じていくのです。

それが私達の喜びです。これから二五〇年、三〇〇年、次元を超えて、私達は、この宇宙とともに、そのように思いを向けています。

ともに、ともに、次元を超えていきましよう、宇宙とともに次元を超えていく私の喜び、今、現実に感じています。

私は宇宙の中にあります。宇宙が感じられる私は、喜びです。

一四四、私は、この肉を離れた後も、今のように自分の意識の世界で、ずっと、ずっと語り続けていくでしょう。

肉を持てば、肉の色々なことがあります。一応のことはしなければなりません。

しかし、私の肉がない時は、思いは、ひとつの方向に向けるしかありません。ひとつの方向に向けて、私の意識の世界は、どんどんどんどん語ります。どんどんどんどん思いを流します。ひとつの方向に向けて、どんどん思いを、エネルギーを流します。

私は、田池留吉、アルバートの意識を心に呼び、そして宇宙にエネルギーを発信し続けます。それが私の意識の世界、なぜならば、私は、田池留吉、アルバートとひとつだからです。

私の肉、今の肉は何も分かりません。しかし、心に確かに伝わってくる思い、それは、私達はひとつですという喜びです。

だから、私は、肉があろうとなかろうと、私の意識の世界が、宇宙に向けて仕事をしてくのです。私は、エネルギーです。宇宙とともにあるエネルギーです。

一四五、宇宙に向ける瞑想より

心に広がる宇宙、田池留吉、アルバートとともに次元を超えていくことがはつきりとした今、心にはただ宇宙を思うだけでいい、宇宙と呼ぶだけでいい、宇宙とともに存在していく世界を、私は、自分の中に広げています。

私の中に、宇宙を広げていくことが、すべての宇宙を喜びに変えることに繋がっていきます。私の中に、宇宙を呼びます。

田池留吉、アルバートの宇宙、母なる宇宙に帰ろうと、私は、私の中の宇宙に呼びかけています。

このエネルギー、喜びのエネルギーが、必ず、必ず仕事をしていきます。これからどんどん仕事をしていきます。

天変地異という形で、仕事をしていきます。

そのことを心感じます。宇宙的規模の天変地異、それはすべて喜びです。宇宙が変わっていく喜びの中に、私達はいます。

私達が天変地異を呼び起こしていきます。天変地異のエネルギーは、喜びのエネルギーです。そのエネルギーを私は、今、感じています。

天変地異が、私達を喜びにいざなってくれるのです。

喜びのエネルギー、それが田池留吉、アルバートとともに次元を超えていく喜びのエネルギー

ギーと繋がっていきます。

すべての宇宙に呼びかけています。

はい、どうぞ、心を向けてください。向けていきましょう。

私達は、次元を超えて今、心に呼びかけています。

今世、日本の国に、肉体を持たせていただきありがとうございます。心の中に宇宙を広げていくことができました。母の温もりの中にあつた宇宙を思い出すことができました。

心の中に、ありがとう、ありがとうの思いがこたまします。

ああそして、私は、アメリカの地に肉を持ちます。

再び、肉を持ちます。喜びのエネルギーを発信するために、肉を持ちます。

アメリカの地で、私は、宇宙を、思いを、エネルギーを流してまいります。

ああそこから、私達は、次元を後にするので。この地球を後にしていくのです。

形を見れば、ああそうです。意識の世界は、もうすでに次元を超えています。心の中に、喜びのエネルギー、田池留吉、アルバート、そう思えば、私は、もう次元を超えて、喜びの宇宙へと巣立っていくを感じています。ああ、私の中のエネルギー、すべてを喜びで覆い尽く

していくエネルギー、私は宇宙、宇宙が私、そのように、はい、喜びのエネルギーを発信してまいります。

一四六、波動を感じていってください。波動です。波動です。言葉ではありません。私達の波動を感じていってください。田池留吉、アルバートの波動、そして、その宇宙の波動、宇宙は喜び、喜びの波動を、どんどんどんどん感じていってください。

心の中に語ります。この波動の世界を語ります。波動を受けていくこと、それがあなたの仕事です。これからも、どんどんどんどん心に語ります。

言葉ではなく、波動を受けていってください。

波動が仕事をします。エネルギーは仕事をします。

私達は、そのことを伝えます。宇宙が変わっていく、変わっていく宇宙を心で感じ、その喜びを伝えてください。はい、どのような形でも結構です。ただただ喜びを伝えていくのです。それがあなたの仕事です。

そう喜びの仕事をしていきましょう。私達宇宙とともに、喜びの仕事をしていきましょう。

はい、意識の世界は広大です。意識の世界に変革が起こっています。

すごいスピードで変革が起こっています。もう、このスピードは止めることはできません。

宇宙に思いを向ける時、私は、そのスピードを感じます。ただただ喜びの世界を感じます。喜びの波動を感じているのです。田池留吉、アルバート、その意識の世界を感じます。はい、もう、すでに私達はひとつの世界にあることを感じます。私の心は、田池留吉、アルバートの世界を語ります。

はい、もう、すごい、すごい勢いで、宇宙が変わっていくことをお伝えします。

一四七、宇宙に向ける瞑想より

宇宙、愛しい宇宙、宇宙と思えば愛しさが込み上げてきます。何故かしら、涙が流れてくるんです。

ただただ懐かしい、とても愛しい宇宙、私のすべてでした。

今、私の中で語っています。宇宙を思うこと、私は喜びの時を迎えています。肉を持ってこんな時を迎えられることが、不思議なくらい嬉しいです。

心の中に、私の宇宙がありました。喜び溢れる宇宙がありました。温もりの中に、ただた

だ出会えたことを喜んでいる宇宙がありました。

私の喜びは、とても大きなものです。宇宙と出会えた喜びを、今、心で感じています。

私の肉は、ちっぽけです。ちっぽけな肉の中に、広大な宇宙の意識の世界がありました。

それは、それは、とても大きな、大きな喜びです。

時間と空間を超えて、はるか彼方から、私はやってきました。

この宇宙と出会うためです。温もり溢れる宇宙、喜び溢れる宇宙に、この宇宙と出会うために、私は、ずっと、ずっと、存在してきたことを感じます。

どんなに言葉を尽くしても、私の喜びは語り尽くせません。

これからの時間、私は、この宇宙とともに過ごしていきます。

肉が朽ち果てても、私の中には、宇宙があります。私が宇宙でした。

すべての意識にありがとうございます。苦しい中を繋いでくれたすべての意識にありがとう。肉の愚かさ、肉の下らなさ、肉の寂しさ、色々、いっぱい、いっぱい心に、私は、その心とともに今まで過ごしてきました。

すべてが、この宇宙を知るためでした。ああ、お母さん…、ありがとうございます。母の温かい意識が、私を繋いでくれました。ただただ繋いでくれました。

喜び溢れるあなたに戻ってくださいと繋いでくれたあなたの心を、私は、決して無駄にす

ることなく、今、ここに存在しています。

ああ、お母さん、ありがとう…、ありがとう…。

一四八、肉は、流れのままに流れていきなさい。心の中の真実の世界を、ただ私達は見つめています。

心の針を真実の方向に定め、私達は進んでいきます。

肉は、流れに流れていくだけでいいのです。心がすべてを決めていきます。

心が、真実の方向を向いて、すべてを決めていきます。

喜び、喜び、喜びの中を進んでいく私達の思いを感じ、肉はただ流れるままに流れていきなさい。

肉の喜びと幸せ、それは、この私達の喜びと幸せを心で知り、心で感じ、それが自分自身だと知ることです。

肉の喜びと幸せは、この幸せを知ることでした。この喜びを知ることでした。私達の心は、そのように伝えていきます。

この喜びと幸せなくして、肉の喜びと幸せはない、私達は、そう、すでに心で知っています。

あなたの喜びと幸せはここにあります。あなたの肉の喜びと幸せはここにあります。心に伝えている喜びと幸せが、あなたの喜びと幸せです。

宇宙を思う心に、優しさが響いてきます。幸せが響いてきます。何とも言えない喜びと幸せが響いてくるのです。

あなたの心が上がってくるものは何でしょうか。今、あなたは何を求めていますか。何もないです。

そう、あなたの答えはそうです。何もないです。この喜びと幸せの中では、何も求めるものはありません。ただただ喜びが、幸せが広がっていきます。温もりの世界が、あなたの心を埋め尽くしていきます。

瞑想する時間は幸せです。瞑想する時間は喜びです。

一四九、本当に優しいとは、どういうことが分かりましたでしょうか。

本当に優しいとは、自分を見つめることができることを言います。

肉のあなたではなく、あなたの中にいるたくさんの自分を見つめることです。瞑想をして、どうぞ、そのことを感じていってください。

本当の優しさとは、自分を見つめ、自分を受け入れ、優しい、優しい思いを伝えていくことです。

ひとつの肉をいただき、たくさんの意識達はその優しさを待っていることを感じられること、その優しさを自分の中で確立していくこと、それが、瞑想をする大切な目的です。

瞑想とは、自分を知っていくことです。自分を知っていけば、どんなに、どんなにこの時を待ち侘びてきたか、その喜びが心に響いてくるはずです。

心の中にあつた優しさと温もりを、自分に伝えるために、ひとつの肉をもらったというところが、心に響いてきます。

あなたが、今そこに肉を持って存在していること、それだけが、あなたにとって、ただひとつの救いです。

肉を持たなければ、自分に本当のことを伝えることはできません。

それは、あなたの心の中で、あなた自身が証明していくことだと思います。

肉を持たない時間、あなたは苦しみの奥底に沈んでいたはずです。

だからこそ、肉という形をくださいと切望してきたあなたのたくさんの過去世達の思い、こ

れからの来世達の思い、どうぞ、今という時に、あなたの心で感じていってください。

私は、自分の心に響いてくる思いとして、これから肉を離し、二五〇年後に肉を持つまでの間、つまり肉を持たない間、心に田池留吉、アルバートを呼んでいける意識の世界を確立しています。

私の意識の世界は、田池留吉、アルバートを呼び、宇宙に心に向けていきますと、私に伝えてきます。

だから、私は、喜びの時間を過ごしていけます。喜びの時間とは、自分と自分の中で、真実の方向に、ただひたすら思いを向けることができる時間です。

一五〇、思えば幸せです。思うことが喜びです。

思えば、通じる世界があります。私は、その世界に、喜びと幸せを感じています。

私の世界は、喜びと幸せの中にありました。温もりの中にありました。

瞑想は喜びです。瞑想をして、自分と出会うことは喜びです。自分の宇宙と出会うことは喜びです。

自分を語ることは喜びです。

喜びと幸せを感じるのに、何も要りませんでした。

ただ目を閉じて思えばよかったんです。思えば伝わってきます。私の喜び、喜びの世界が伝わってきます。温もり、広がる思いが伝わってきます。

この思いがあれば、私は、何も要りません。

それが私の意識の世界です。その意識の世界を、肉を通して、今、感じています。ストレートに感じるものが嬉しいです。

目を閉じて、私は、自分の意識の世界を感じます。目を開けていれば、肉の私の諸々を感じ、そのストレートの思いが、少し弱くなってきました。

しかし、目を閉じて、瞑想をする時間、私は、私の思いをストレートに感じます。ストレートに感じた思いは真実です。私の心に響いてくるからです。

私の中には何もありません。ただ安らぎと、温もりと、喜びと幸せ、心の中に広がっている思いです。

私は、この世界とともに、これからの時間を経ていくのだと思います。

肉に起きる出来事の中には、一瞬心が揺らぐこともあるでしょうけれど、ああしかし、私は、すうっとこの世界に戻っていきます。

瞑想をする時間を持ちましょう。

瞑想をして、自分と真向かいになる時間を持ちましょう。

自分と自分の中で、対話する時間を持ちましょう。

一五一、田池留吉、アルバートの、その意識の世界、宇宙を思います。

田池留吉、アルバートの意識が語ります。心の中に語ります。

あなたの世界は、温もり、喜び溢れる世界です。私達の宇宙を心に呼び起こし、あなたの宇宙とともに、私達の宇宙とともに、次元を超えていくことを確立した世界です。その世界を、今世、どんどん広げていってください。

田池留吉、アルバートの波動、その宇宙、私は心に語ります。

この波動を受けていってください。言葉ではありません。波動の世界です。

田池留吉、アルバートの波動、その宇宙、その世界、私は心に、どんどん語ります。

私達の思いを受けていってください。長い、長い時間を経てきたあなたの意識の世界に、私

達の宇宙を呼び起こしてくれたことを喜んでいます。

私達とともに歩いていく道、それがすなわち、あなたのアルバートへの道、そして、それが宇宙、母なる宇宙へ繋がっていく道、私は、そのようにお伝えします。

心からありがとう、ありがとう、喜びの思いを、あなたに伝えます。

私達は異語で通じ合っています。心と心の通信をしています。心の中に、私を呼びなさい。これからの時、これからの時間、私は、あなたにすべてを語り続けていきます。

心を本当の自分、田池留吉、アルバート、その宇宙に向けることを喜びとしているあなたに伝えます。心の中から伝える私の思いは、喜びだけです。

喜びです。喜び、喜び、喜び、そして、温もりの世界、温かい、温かい温もりの世界、この波動の世界を、あなたとともに歩いていく私の喜びを、ただただ伝えます。ただひたすら、心に向けることをしていただく。心に向ければ、通じる世界、あなたは、すでに、そのことを感じています。

あなたの心から、溢れるような喜びの思いを受けさせていただいています。

真実の世界は、喜びだけです。母の思いだけです。何もありません。何もありません。ただただ広がっていく世界、私は、あなたにそのようにお伝えしました。

心の中を覗いていくことを、素直にやってくれたあなたに、今、私達は、ありがとうの思

いを伝えます。たくさん意識達にありがとうの思いを伝えます。これからの時間、大変な時間を経て、私達の出会いとなりますが、私は、あなたといつもいます。あなたの心の中にある田池留吉、アルバートを呼べば、私は、はい、いつもあなたに語りかけています。

私は、田池留吉、アルバート、そしてあなたの宇宙とともに歩いていく意識です。そうです、私達はひとつ、ひとつの喜びを、今、あなたに伝えます。

心の中に、私があることを信じてくれているあなたの喜びは、あなたを通して、これからも流れていきます。心からありがとうを申し上げたいです。

私の思いは、ただただそれだけです。私の役目は、もうすでに完了しています。後は、肉をはい、この世に残す思いは、もうありません。私は、幸せです。

一五二、宇宙を思う時、肉を持った私がどれだけ欲の深い私だったか、心にしっかりと響いてきます。

食べる物も、着る物も、住むところだって充分にある今の私に、これ以上何も望むものはありません。私の心ひとつあればよかったです。この心にすべてがありました。

この心の中に、喜びと幸せがありました。私は心でした。

ただこの喜びの波動を、宇宙に伝えていくために、今世と来世の肉を持ってきたんです。

本来、私は、何も持たない意識、何も持たない心、エネルギーです。

肉を持って自分の姿を知り、その姿を、ただただひたすら見つめてきました。そして、その姿の中に、本当の私を見出したのです。本当の私は、喜び溢れる存在でした。温もりの中にある存在でした。

肉という形を通して、ようやく、その私を知ることができた今世でした。

心を繋いだ私は、来世の肉を通して、この喜びを伝えていきます。

私の中に、来世の私があり、過去からの私があり、そしてそれらをすべて包み込む宇宙がありました。

すべては宇宙とともに進んでいくこれからの時間です。

宇宙を思うことは私を思うこと、宇宙を語ることは私を語ること、その中で、私は、喜びと幸せを感じています。

その喜びと幸せの波動が、田池留吉、アルバートの波動、それが私自身です。それが心で分った。だから、今世の私の喜びは、本当にすごいものです。

一五三、意識の世界の变革を感じます。

確実に変わっていく意識の世界、それは、瞑想をする中で顕著に感じます。

今世、肉を持ってきた意味とその深さを、瞑想をするたびに感じます。そして、私の来世の喜びはもちろんのことです。

すべては、宇宙の意識と繋がっていることを感じる心には、ただただ肉を持てたことを喜んでいられる私が、はつきりと見えています。

肉を持つてするべきことがはつきりと分り、そして、それが宇宙の喜びだと感じ、私は、私の中で、この喜びを広げていだけだと思つています。

宇宙に喜びのエネルギーが流れています。

これからも、どんどん流れていきます。だから、形の世界は、いずれ崩れ去り、消え去っていくのです。

それが喜びです。形の世界など、本来存在しないことを、崩れ去り、消え去っていく中から、一人ひとり気付いていけばそれでいいのです。

何のとらわれもない中に、自分を解き放していけることを待ち望んできました。

宇宙という意識の世界が、私にそのことを伝えてくれています。

宇宙に思いを向け、そして宇宙を語る時、私は、だから、とても幸せなんです。自分の世界が、

伸び伸びと広がっていくことを感じ、ただただありがたいがどうの思いが湧いて出てきます。

幸せです。お母さん、ありがとう、田池留吉、ありがとう、そしてすべての意識達にありがとう、私の宇宙は喜んでいきます。

瞑想をするたびに、その宇宙と出会います。本来の私の世界を伝えてくれた宇宙は、暗黒の宇宙でした。

そして、瞑想するたびに、その意識の世界の変革を感じています。

一五四、真つ黒でいいんです。真つ黒で当たり前だからです。

真つ黒が嬉しいんです。立派な人など気色が悪いです。

しかし、ただ真つ黒ではいけません。なぜならば、私達は、今世、田池留吉という肉と出会い、そして、心を見る、つまり自分を見つめる、自分の流してきたエネルギーを感じていくことを教わったからです。

教わったことは、自分に伝えるべきです。

そうでないと、絶対にあなたは後悔します。あなたが死んでいく時に、後悔しても後の祭りです。

しかし、みんな死ねば地獄です。今、私達が学んでいることは、その地獄の暗さ、冷たさ、重さを、少しでも明るく、温かく、軽くしようとしているのです。

私も地獄です。しかし、私の地獄は少々違います。さ迷い、襲いくる意識達につぶされはしません。

私は、私の中に、田池留吉、アルバートを呼べるのです。そして、その意識達とともに、優しい、温もりの世界を思えるのです。

だから、私の地獄は、全くこれまでの地獄とは様子が違ってきます。

そうでなければ、私が、今世、肉を持ってきた意味がありません。

宇宙が変わっていく、とても大切な端境期はざかいきに、私は、肉を持ってきたのです。その自覚は、私の中にすでにあります。だから、私は、日々、宇宙を思い瞑想を楽しんでいます。生きても死んでも同じように、私は、瞑想を楽しみます。

みんな自分のためです。今、肉を持つ時間は、みんなそのためです。

もつと、自分に食欲になってください。

分かりますか。自分に食欲になれ、これは、自分の優しさに食欲になれということなのです。

私は、自分が愛しいです。自分の宇宙が愛しいです。宇宙の意識達は、とても可愛いです。こんな私になれたことが、私自身、一番喜んでいきます。

一五五、私は、今、田池留吉を思い、宇宙を思う瞑想を、日々続けています。時間を作って、その瞑想を続けています。

宇宙を思う時、お母さんが出てきます。お母さん、ありがとう、宇宙を思う時、真っ先にこの思いが出てきます。

はい、田池留吉のほうに心を向け、宇宙をどんどん呼んでいってください。あなたの中に、宇宙をどんどん呼んでいってください。宇宙に向ける瞑想を続けていくこと、すなわち、それがあなたの喜びです。心に向けること、宇宙に心に向けること、宇宙を思うこと、すなわち、それがあなたの喜びです。

私は、そのように伝えました。

心の中に、田池留吉、アルバートを思い、宇宙を思うこと、すべての宇宙に繋がっていきます。はい、喜びの中にあるあなたを感じていきます。

心が広がっていくでしょう、心の中に温もりが広がっていくでしょう。

温かな、温かな柔らかい波動の中に包まれているあなたの中の宇宙、すべての宇宙に、そ

の喜びを伝えていくのです。

心の中に宇宙を呼ぶ時、ただただ呼ぶ時、心の中の広がりやを、その思いをただただ伝えていくのです。

宇宙、たくさんの宇宙が待っていることを知って行ってください。

母の温もりを心に感じない限り、宇宙が変わっていくことはありません。

暗黒の宇宙に、温もりの思い、優しい思いを伝えていくだけです。宇宙は待っているのです。そのことを、私達は伝えにやってきました。あなたの宇宙を変えてくださいと、私、田池留吉、アルバートの波動は、この次元にやってきましたのです。

すべての宇宙の意識達に思いを届けてください。私、田池留吉、アルバートの宇宙、その意識を伝えてください。

あなたの宇宙に、その意識の世界を伝えていくために、私達はこのように次元を超えてやってきました。

この思いを、どうぞ、素直に受けて行ってください。

私は、田池留吉からのメッセージとして、宇宙に向ける瞑想をして行ってください、続け

ていつてくださいという上記のようなメッセージを受けてきました。

その通りにやってきました。心の中に、大きな変化が起こりました。

心の中の喜びを、即座に感じる事ができます。宇宙は喜んでるのが分かります。

田池留吉、アルバートの波動の世界の中にある宇宙の喜びが伝わってきます。

淡々と語る私の中にある思いは、宇宙です。宇宙の喜びは私の喜び、私の喜びは宇宙の喜びです。

田池留吉、アルバートが伝えてきます。

心をただただ、田池留吉、アルバートに向け、宇宙に向け、思いを向けていく時間を作っていくこと、それがあなたのこれからやるべきことだと、私に伝わってきます。

一五六、宇宙の風（宇宙からのメッセージ）を、どうぞ、心で読んでください。

今までもそうでした。私は、色々なところで、たくさんメッセージを伝えてきました。

それらは、もちろん、第一に私の勉強でした。

しかし、それだけではないことを、どうでしょうか、あなたは分かっていますか。私の勉強ということは、あなたの勉強なのです。

それが分からなければ、所詮、あなたの学びは、どこかポイントがずれている、ということになるでしょう。

ホームページを通して、ともに学んでこられた人達は、今頃は、すでにご自身に確かな喜びと幸せ感を見出しつつおられるでしょう。

そして、それを、これからの時間、そして次の転生へと繋いでいくことに、それぞれが生懸命だと思います。

長きに亘って、ずっと、ずっと学ばせていただいたのです。

その量は、膨大です。その都度、その都度、心に響いてきたことを記したものが、どっさり山積みです。決してゴミの山ではありません。みんな宝の山です。

その学びの軌跡を振り返ってみてください。

今頃、文句など言っている人達、暗い顔をしている人達、本当に何を学んでこられたのかと思います。

学びの本筋に触れていくことは難しいにしても、死ぬまでに、文句を言うことは止める、暗い顔はしない、その最低のことだけでもしていかれたらどうでしょうか。

文句を言ったり、泣いたり、もうそんなことは止めていきましよう。

文句を言う前に、泣く前に、宇宙の風（宇宙からのメッセージ）を心で読んでください。

私は、暗黒の宇宙を変えていくために、ここに肉を持ってきました。

地獄の奥底の底の底から這い上がってきた私がお伝えしている内容、あなたの心に響かないわけがないのです。

なぜならば、あなたも、そして、あなたも、私と同様、地獄の奥底の底の底から、今、肉を持って、この学びをしているからです。

そのご自覚を、もっと持つてください。

文句など言っている暇などない、泣いて沈んでいる暇などないと、私は、申し上げたいです。

一五七、お母さん、お母さん、とても幸せです。お母さん、ありがとう、お母さん、私の中に、お母さんをお母さんと呼ぶ思いを広げています。

お母さんを、ただただ慈しみ、お母さんを、ただただ求めてきた私の中を、今、感じています。お母さん、あなたの思いをしっかりと感じています。心の中に、あなたを忘れることなく、私は、これからの時間、存在してまいります。

心の中から、あなたを忘れ去った時から、すべてが狂ってきました。

苦しみの淵に沈んできた私の中の思いを、今、私は、お母さん、あなたの中に広げています。

すべてが狂ってきました。その狂いの中に、私は、ずっと、ずっと存在してきたことを今、母の思いに向かつて語っています。

私の中の宇宙が語ります。母の思いに背いてきた宇宙が語っている、こんなに嬉しいことはありません。

大きな、大きな喜びの中にありました。

母の温もりの中に帰っていく宇宙達の喜びを心に広げていくこと、私は、これからそのことを、どんどんやっていきます。

母の温もりこそ、私の中にあつた本当の世界でした。

宇宙に、その喜びを伝えていけること、幸せです。

お母さん、ありがとう。喜びに帰っていく私の宇宙です。

あなたが決めてきた道筋ですよ。あなたが決めてきた計画です。

私達は、あなたの思いを届けました。心の中にあつた喜びを思い出していくこと、それが、あなたが自分に計画してきたことなんです。

母の思いは、私に伝えてくれています。たくさんの母の意識が私に伝えてくれます。こん

な中に私はずっといた、本当にずっといた、そして、これからもそう。だから、私は幸せです。幸せを感じるのに、何も要りません。思えば応えてくれる私がいるからです。

一五八、田池留吉、アルバート。意識の流れ、その世界に心に向けてみます。

田池留吉、アルバート、その流れの中にいる私を感じます。

意識の流れに沿って、すべての宇宙に呼びかけている感じます。

遙かなる宇宙、その中で、ひとつの宇宙を目指してきた私がありました。

すべての宇宙に向けて、呼びかけている感じます。

意識の流れは、今、その方向に、粛々と流れています。

はい、その先にある思い、すべてがひとつの世界を、私達は行くのです。

意識の流れに沿って、私は、歩いています。

生きるも死ぬも、私は、すべて意識の流れの中にある自分を感じています。そう、すべてが意識の流れの中にあります。

心の中に、田池留吉、アルバートがあります。

そして、田池留吉、アルバートを呼ぶ私の中に、何もありません。

ただただこの流れがありました。遙か、遙か昔から、ずっと、ずっと続いてきたこの流れの中を、今、私は、歩いていることを感じます。

この流れの中にあつた私を感じ、喜びがとても大きいです。すべてがひとつになつて流れていく、その中にある私を感じています。

お母さんに肉を望みました。この肉をくださいと、今世、この肉をくださいと望んできた私の思い、それは、意識の流れの中にある私を感じたかったからです。この肉をいただきたい、そう、お母さんをお願いしました。

田池留吉、あなたの意識の世界と出会わせてくださいと、私は、母に肉をいただきました。田池留吉の世界と出会いたかった。アルバートの波動を知りたかった、そう知りたかったのです。どうしても、自分の宇宙を変えていきたかったからです。

田池留吉、アルバートの波動を自分の中に、呼び起こすこと、それは、私と私の固い、固い約束でした。

しっかりと誓いのもとに、私は、この肉をいただいたことを、今、感じています。

意識の流れの中で、その思いを感じています。

心よりありがとう、ありがとう、ありがとうを伝えます。

一五九、最後は瞑想、私がしていくことは、瞑想です。

どんどん、瞑想の中で、宇宙を思うことです。

田池留吉、アルバートを思い、そして、宇宙に思いを向けます。

そうすれば、この心の中から、自然に喜びが湧いて出てきます。

だから、瞑想は楽しいです。瞑想をすれば、私は、私の温もりと出会えます。宇宙と出会えます。宇宙と出会うことが、私には喜びです。

心に響いてくる優しさ、温もり、その中で、私は、思いを向け、思いを受け入れ、思いを向け、思いを受け入れ、そのことをただひたすらにやっています。それが私の幸せです。私の喜びです。宇宙を思うことは、嬉しいなあ、本当に嬉しいです。今、こうして、思えることが嬉しい、そうただ思えることが嬉しいんです。

本当に長かったです。この自分の世界に辿り着くまで、本当にたくさん時間を要してきました。

今、ようやく、私は、私を思い出し、そして、その自分とともに存在していく道を見つめています。

私は、本当に何も要らないです。満ち足りた中に私はいます。私と宇宙、宇宙と私、私は、宇宙にある自分を思う時、本当に喜びの思いが込み上げてきます。

後は、瞑想をして、どんどん自分の中を広げていき、時が来れば死に、そしてまた時が来れば生まれ、そして、時が来ればその宇宙とともに次元を超えていくだけ、そう天変地異とともに次元を超えていくだけです。

一六〇、私には、宇宙と呼ばば響く世界があります。本当に喜びの宇宙を感じます。自分の中に、本当に今という時を待っていたその思いが響いてきます。

三億六千年探し続け、求め続け、そして、分からなかったゆえに狂い続けてきた自分の歴史を思うとき、私は、本当に自分にありがとうの思いが出てきます。

こんなに幸せな時間を自分に与えています。

すべては、本当の自分の思いでした。優しい、優しい、温もりの中にあることを、どうしても自分に伝え、そしてそれが私だと信じたくて、私は、今に至ってきました。

何もかも整えられている状態の中に、私を私はいざないました。

真実を知っていかうとする強い思いの現れでした。

私は、それらのすべてを、無駄にすることなく、自分に真実を伝えていく道を、自ら選んできました。

今、私は、自分の宇宙に心に向けています。宇宙と語り合い、宇宙と心を通じ合わせる喜びを感じています。

宇宙の変化、それは、すなわち、私の変化です。私の意識の世界は、目覚しく変わったことを、宇宙を通して、私は知るに至っています。

まさに、意識の流れの流れのままに、私は存在していきます。

それが、私にはすべてでした。これからの時間、肉を持っていても、持っていないくても、この意識の世界に揺るぎはないことを、今もまた、自分の中で確認する喜びを感じています。

一六一、私には選択肢がない、この思いとともに歩んできた学びの時間でした。そして、私は、これからも、ただひたすらに、自分の決意だけを見つめて存在していきます。

その思いは、我ながらすごいと感じています。しかし、そうでなかったら、今の私は存在

しなかったし、私の未来などありませんでした。

未来などない、私は、私にそう伝えてきたのでしょうか。

三億六千年の総決算を、今世と来世の時間に託する思いは、それほどの意気込みでなければ、決して達成されないことだと、私自身は知っていたのです。

それほどのエネルギーを、宇宙に流し続けてきたのだから、そのエネルギーを回収するエネルギーも、またすごいものだと感じています。

自分の流し続けてきたエネルギー、自分の宇宙を汚しまくってきたエネルギーは、自分ではしか回収できないことを、母の温もりを通して、分かり、かつ、それができる自分だと分かったことが、絶望の淵に沈んできた心に、一筋の光明が差し込みました。

その明かりを、私は忘れることなどできませんでした。

必ず、この自分に応えていこう、私に、その誓いを思い出させてくれたのです。私は、何も要らなかつた。ただ、真実を知りたいだけででした。

そして、自分に伝えたかっただけです。

私は、私に誠実です。私は、私を裏切りません。絶対に裏切らない。

田池留吉、アルバートは真実の私です。

真実の私を知った以上、裏切りなどあり得ないからです。

一六二、最近、田池留吉から、死という言葉が多く出てきます。

たとえば、あなたの死後、あなたはどのような状態で存在しているのか、具体的に、自分の心で知っていくことによつて、今の肉がある間の学びの姿勢というものを、もう少し見直していかれるかもしれません。

あなたは、自分の肉を離れた後、田池留吉、アルバートを呼ぶことができますか。

この問いかけは、非常に現実的です。

もがき苦しんできた自分に、どれだけのことを伝えることができるのか、まさしく、自分との中で、真正面から向き合わなければという思いとともに、自分に優しく、誠実に、真摯になつていけば、誰でもが幸せを感じることができます。

そういうものなんです。私達は、そういう存在です。

そして、そこに留まることなく、自分のこれからに思いを馳せ、真実の世界に限りなく近づいていくだけです。

次元を超えて続いていく自分という存在、自分というものを知っていく限りない時間がある、瞑想をして、そういうようなことが心に響いてくるほどに、今という時のありがたさが、心に広がっていきます。

一六三、すでに、意識の流れは、びしっとその道筋をつけています。不動です。全く揺らぎはありません。

だから、この学びについて、私に残されているものは、瞑想だけです。もう瞑想しかないのです。

ただただ、瞑想をして、自分と真向かいになり、田池留吉の世界を心に感じ広げていくだけです。

私の肉は、そのためにあることも分かっています。

肉は、満ち足りた中にあります。肉のことで、取り立てて何かをしななければならないこともなければ、肉の中に、私の求めるものは、全くありません。

肉のそのような中で、私は自分と真向かいになれる時間と空間を、用意していることを嬉しく思っています。

瞑想をすれば、確実に広がっていく世界があります。確実に感じる世界があります。そんな今に、私は生きています。

来世の私の肉は、今の状態とは程遠い状態を経ていきますが、それでも、私の中は、変わ

らずに、真実を自分の中に広げていく道を歩いていつているんです。

やがて、時が来れば、その思いは、来世の肉を通して爆発していくだけです。

宇宙に思いを向けて、メッセージを発信していくとき、宇宙の彼方から喜びのエネルギーが呼応してくる様を、私は、心に感じ広げています。

それは、二五〇年後、来世の肉を中心として起こる現実です。

その中に宇宙はあります。UFOがあります。

肉の人間だけではありません。UFOが必ず次元移行に、大きなパワーを発してきます。

UFOすなわち宇宙、宇宙とともに次元を超えていく壮大な計画が、着実に私の中で整えられています。

一六四、宇宙に思いを向け、UFOに思いを向け、おかしくなっていった人達は、たくさんいると思います。

その人達は、もともと狂ってきた自分を知らずに、安易な気持ちで、そして欲でそういうことをしてしまうのです。

しかし、一旦そこにはまり込んでしまったら、そこから抜け出すことは容易ではありません。

そして、そういうことすら、もう分からなくなってしまうている、そんな世界を過去からずつと重ねてきた意識が、これから、どんどんどんどん肉を持っていきます。

そして、その意識達が、地球上のあらゆる場所で、様々な現象を起こしていくのです。まさに、ブラックパワーの傀儡かいらいの如き様相が展開されていきます。

「自然災害という天変地異も大規模なら、地球上における人間達の行動も、鬼気溢れるものがあるでしょう。」

これからは、そういう時を経ています。

自分達の心につけてきた闇の部分が出尽くさない限り、意識の世界の変革などあり得ないことを、自らが知っていくのでしよう。

闇は深いです。深遠です。なぜ転生を重ねてきたのか、重ねていくのか、そのところに気付く優しさが必要であり、その気付きが待たれています。今を大切にしていってください。

一六五、目を閉じて思うことは、この世界です。田池留吉、アルバートの宇宙、その宇宙に思いを向けることができるのですね。

心の中に、田池留吉、アルバート、そう呼んでいる私があります。

その心の中を覗いてみると、その中には何もありません。

田池留吉、アルバートを求めてきた宇宙がありました。

ただそれだけが私の現実です。私の現実はそれだけです。宇宙を思う時、だから、喜びです。どんなに苦しい中を生き続けてきたか、それは、私自身、もちろんよく知っています。そして、今、田池留吉、アルバートを呼べる私があります。

ああ、お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとうございます。

後は、異語で思いを語っています。

心に響いてくる思いは、優しい、優しい温もりです。

宇宙を思っていると、もう何も要らないんです。幸せです。

こんな中に、私の宇宙を呼び寄せることができる、本当に幸せな時間をいただいています。

異語は、宇宙のリズム。何年か前にそう語っていた私がありました。

その通りです。異語で語り合える、宇宙のリズムの中にあつた私自身と、異語で通じ合える、それは喜びです。

異語を語りながら、田池留吉、アルバートの宇宙、その波動を感じる、それは喜びです。

宇宙のリズムを奏でながら、軽やかに波動が流れていく、それは喜びです。

一六六、 田池留吉、 アルバートの宇宙に心を向けてみなさい。

心に語ってくる温もりがあります。心に伝わってくる温もりがあります。

心の中に優しさが広がっていきます。

ありがとうございます。心を向けることが喜びです。

母の温もりの中にあつた宇宙、その宇宙に汚れをつけてしまった心の中を、私は、じつと、じつと見つめています。

心の中に、私の思いが伝わっていきます。母の温もりに帰っていかうとする私の思いを、すべての宇宙に伝えていきたいです。

すべての宇宙に伝えていきたい、瞑想をすると、そのような思いが伝わってきます。この母の温もりの中にある宇宙が私でした。

田池留吉、 アルバートの宇宙、それは、田池留吉、 アルバートの宇宙です。

田池留吉、 アルバートの母の世界、その宇宙の中に心を向けることを、喜びとしている私があります。

本当に、本当に長い間待っていただきました。

「心を向けなさい。心を向けなさい。温もりの中に心を向けなさい。あなたは温もりですよ。あなたの中に温もりを思い起こしていきなさい。」

そうやって、私は、長い、長い時間待っていただきました。

田池留吉、アルバートの宇宙が語ります。

今、心を向ける時、「ようやく、ようやく心を向けていただけることが嬉しいです。ありがとうございます。ありがとうございます。心の中に、どんどんどんどんその思いを広げていきなさい。」はい、そのように伝わってくるのです。

瞑想をすると、とても嬉しいです。ただただ心が広がっていくのが分かります。心の中に温もりが広がっていくのです。

それが私自身でした。それが私だった。はい、ありがとうございます。このように伝えていただいたこと幸せです。ただただ喜びです。

真つ黒な宇宙を背負って心を、ずっと、ずっと繋いできました。真つ黒な宇宙を背景に心を繋いできた私です。今、ここに確かな、確かな喜びの世界を広げています。

お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。心の中に喜びが広がっていく。温もりが広がっていく、あなたの温もりが広がっていく。

お母さん、ありがとうございます。

一六七、真実の波動の世界、それだけが知りたかった。それだけを待ち望んできました。今の私は、私のその思いが実現しています。

だから、私は、幸せです。私には何も要りません。

もう、すべてが整えられていることを感じます。

もう後は、瞑想だけです。瞑想をして、どんどんこの世界を自分の中で、広げていけばいいだけのことです。

自分の中に、真実の世界があつた、今世、一応の到達点を得て、来世に臨んでいけることを喜んでいきます。

あとひとつの肉をいただけることに、喜びを感じています。

もちろん、その肉は、もうすでに、私の中で用意されています。

出会う場所もタイミングも、みんな私の心は知っています。

出会いは目覚め、それも私の中の既成事実です。そして、目覚めは発信、即、行動を起こしていきます。

もう地球人類には、時間がないことを、来世の肉を通して、発信していくのです。

度重なる天変地異に遭遇し、心も身体も疲弊^{ひへい}し尽した人類の心の奥底から、私達は、最後の揺さぶりをかけていきます。

一六八、私の中の温もりが語ります。温もりの私が語ります。

温もりの世界があなたです。私は、温もりです。そう、私が私にえています。

瞑想をして、私は、心を自分に向けています。自分の宇宙に向けています。

心の中に、その宇宙が語ってくるんです。

私達宇宙は、温もりでした。今、私達はその温もりの宇宙を感じています。

そうやって、私に伝えてくれます。それが私の世界です。

私は、今、肉を持っていてるけれど、私はこの世界にいます。

私は、私を知っていくこの時間と空間の中にあることを、今、本当に喜びとしています。

肉のことなど、整ってきます。本当に自分にしてやりたいことをするために、私は、ここにいることを、私に伝えてくるんです。

私は、この私を信じています。私の信じているものは、私の中にあるこの安らぎと温もりの世界です。

たくさんのお母さんの意識が私を繋いでくれました。

はい、お母さん、嬉しい、嬉しい、嬉しいです。

今、私達は、お母さんの温もりを伝えてもらっています。

お母さん、ありがとう、お母さん、ありがとう。今、心に、あなたの優しい思いが伝わってきます。

はい、私達は今、このように語っています。温もりのほうにあなたの心を向けていきますよ。そうやって語ってくれる優しさにはいざなわれて、私達は、自分の中に思いを向けています。伝わってくるのは、優しさと温もりです。幸せです。

私は、このように、自分と自分の中で、異語を通し、そして、瞑想を通し、対話を続けています。その時間と空間が、私には、嬉しいです。

私の中に、どんどんどんどん喜びが溢れていきます。温かい思いを感じるんです。自分の中に温もりが広がっていきます。

お母さん……。

一六九、田池留吉、アルバートを呼ぶ私は、喜びです。温もり溢れる世界を感じます。お母さん、ありがとうございます、ただただありがとうございます、その思いだけが広がっていきます。

温もりの私がありました。お母さん、あなたの言う通りでした。私は温もりでした。温もりが私でした。そして、心の中にあるものは喜びでした。

田池留吉、アルバート、その世界に思いを馳せるとき、私の中は喜びが溢れていきます。心を田池留吉、アルバートに向けることをやってきた私の中は、喜びです。

そうです。もっと、もっと、心に向けていきなさい。喜び、喜びが溢れてくるでしょう。そう私は、心の中に喜びを伝えている意識です。

田池留吉、アルバートの宇宙は喜びなんです。喜びの宇宙が、田池留吉、アルバートなんです。母なる宇宙を目指してきた私達は、そのことを今、心で感じています。

母なる宇宙、その世界は、喜びの世界、温もりの世界、心で感じられる世界。その意識、波動は、はい、確かに流れています。

意識の流れの中にある私達を、喜んでいきましよう。私は、そのように伝えていきます。

田池留吉、アルバートの宇宙より、メッセージを送ります。

私達は、喜び、喜びの中に帰っていく意識です。意識はひとつ。私達は喜びを伝えてまいります。

一七〇、祈る心、祈るエネルギー、そのエネルギーの愚かさを自らに知らしめるこれからです。

祈ることは止めてください。祈るのは、止めましよう。

そうやって、私達は、気付きを与えていきます。

人間の心の中に眠ってきた祈る心、祈り念じる心、そのエネルギーの凄まじさ、そのエネルギーの愚かさ、それを自らの肉を通して感じていってください。すべてを破壊していくエネルギー、そのエネルギーを自ら体験していくのです。そうやって、私達は、呼びかけていきます。すごいですよ、これからの天変地異は。すごいです。宇宙からのエネルギーは、本当にすごいエネルギーです。喜びのエネルギーと一口に言いますが、想像を絶するほどのエネルギーです。

一瞬のうちに、壊滅状態になっていくんです。人道支援、そんなものともないです。そ

んな必要など何もありません、すべてが無くなっていくんですから。そんな中で、一体、心は、どのような叫び声を上げるのでしょうか。

祈ることを止めましょう。止めない限り、人間の心はどうしようもありません。何に祈りを捧げるのか、何を祈るのか。どこに祈りを捧げるのか。

それぞれが自分の心で知っていく転生です。

転生と言えば、天変地異です。天変地異に遭遇することが転生なのです。

そうです、転生をするということは天変地異に遭遇するということです。

天変地異を伴う転生、これからの人類は、その体験を重ねていきます。

祈りに通じる心が、どれだけ荒れ狂っているのか、どれだけ自らを愚弄してきたのか、何度、天変地異に出逢えば、そのことに気付いていくでしょうか。それほど、人間の心の中にある他力のエネルギー、本当に根深いものなのです。

一七一、あなたは、今、幸せですか。

私は、幸せです。自分を思う時、幸せ感が満ちてきます。

ああ、私は、幸せだと思います。私は私を知ったからです。本当の私を知ったからです。温

もりの中にある私を知ったからです。

あなたは、田池留吉を信じていますか。肉ではありませんよ。田池留吉という肉があらうとなかろうと、その存在が信じられますか。

今、田池留吉の肉が目の前から消えても、あなたは、大丈夫でしょうか。

私は、田池留吉を信じています。私は、田池留吉の肉があらうとなかろうと関係がありません。また、私自身のこの肉があっても、なくても、私の意識の世界は、田池留吉、アルバートと通じています。

私は、もうすでに、その世界を確立しています。

あなたにとって、アルバートとは何ですか。あなたにとって、転生とは何を意味していますか。私にとって、アルバートとは私のすべてです。私は、アルバートと出会うために、今世、生まれてきたのです。

アルバートの波動を、私は知っています。そして、その世界の素晴らしさも言うまでもありません。

そして、私にとって、転生とは、二五〇年後を言います。

二五〇年後に、再び肉を持つてくること、それが私の最大の転生になるのです。つまり、その転生が、私にとって総決算だから、私のすべてです。

総力を挙げて私は、その時間を活用します。真実へ一直線の転生です。すでに、来世の私がメッセージを送ってきます。

一七二、私は、この波動の世界とともに、これからも仕事をしていきます。素晴らしいエネルギー、喜びのエネルギーを流してまいります。

心の中にアルバートが、田池留吉、アルバートの宇宙があります。

私は、この喜びのエネルギーを流していくんです。

私の意識の世界は、そのようになっていきます。

今世のこの肉をいただき、私は、一応、その到達点に、今います。

もちろん、意識の世界は永遠です。意識の世界に限りはありません。

そう、そうやって、私は、ずっと、ずっとこれから存在していくのです。

喜びのエネルギーとともに、私は存在していきます。

それが私だからです。喜びのエネルギーの中にあつた私、喜びのエネルギーしかなかった

私でした。

たくさんさんの転生をしてきました。遥か彼方から、たくさんさんの意識達を、心の中に留め、私は、今ここに至っています。

はい、たくさんさんの意識達が語る中、私はそれでも、自分の中の温もりを、喜びを、こうやって信じていける、それが私だと確信できることが、もう喜びなのです。

お母さんに、そのことを伝えていただいた私の中には、喜びしかありません。

狂って、狂って、狂い続けてきた私の転生の数々、そんな転生の数々も、すべては喜びへと変わっていきます。今の私が変わったからです。

これからの私の中に、さらに喜びが溢れてくる、それが私の中に充滿してくる、私は、今、その時を得ました。私の目覚めです。今世の目覚めです。

私は、自分にそうやって伝えることが、とても嬉しいです。

たくさんさんの意識達を抱え、私は、存在しています。

ひとつの肉を持たせていただいたことに、どれだけの思いを語ってみても、私の中を語り尽くすことはできません。言葉がないのです。

肉を持たせていただいたことに、ただただ感謝です。

一七三、今、私は、来世の私とともにいます。来世の私の思いが、今の私の思いです。

田池留吉がアルバートとひとつであるように、私も、また来世の私とひとつ、そして、私達は、ともにひとつの方向を見つめながら、ともにひとつを喜びながら、すでに、この道を歩いています。

だから、私のこれから先は、喜びしかないので。

本当に、今世の私の展開はすごいと思います。我ながらすごいと思います。

今世の私の喜びもさることながら、来世の私はすごいです。

これから、二五〇年の間、真実を見つめながら存在していくのだから、来世の私から流れるもの、流れるエネルギーは本当にすごいと思います。

肉が外れた瞬間に、そのエネルギーは、宇宙に一気に流れていくし、また宇宙からも、そのタイミングを見て、その呼びかけに瞬間的に反応してくる、その準備を、私は、これから二五〇年かけて、ひたすら進めていくのです。

その勉強が、私にはあります。田池留吉、アルバートの意識とともに、その勉強をしていく二五〇年の時間、私には、ただただ嬉しい限りです。

呼べば通じる世界、その世界を自分の中に広げ、そして、また自分を見つめていく、見つ

めていけばいくほどに、私の中は喜びに変わっていく、それは、今、肉を持ってやっていることと何も変わりはありません。

そうやって、私は、再び肉を持つてくるだけのことです。

私は、真つ黒でない黒人です。しかし、白人ではないことから、理不尽な差別、偏見の中で、自らを落とし込める設定です。その設定は、自らの闇のエネルギーを爆発させるには最適の設定です。

それを起爆剤として、私は、自分の肉を外すのです。

その設定と、アルバートの目、そのふたつによって、本来の私を開花させる瞬間を、私は迎えます。

一七四、私は、今、穏やかに流れる時間と空間の中にこの身を置かせていただいています。

穏やかに、そして淡々と私の時間は流れています。

田池留吉、アルバートを思い瞑想をすれば、ありがとうの思いが伝わってきます。

ありがとう、ありがとう、幸せです、その思いが伝わってきます。

短い瞑想の時間の中でも、長い瞑想の時間の中でも、今の時間が自分に与えられているこ

とが嬉しい、幸せです。

「瞑想、していますか」の大きな赤い文字が、心に喜びを伝えてくれます。

はい、嬉しいです、幸せです、ありがとうございます、そう思いながら、私は、目を閉じます。

目を閉じれば、そこには私の世界が広がっていきます。田池留吉、アルバートと思えば、宇宙が出てきます。

私は、田池留吉、アルバートと異語で語り合っています。異語を通し、伝わってくる優しい温かい思いの中にあることを感じ、幸せを感じる時間です。

瞑想は、喜びです。田池留吉、アルバート、そして宇宙を思う瞑想は、喜びです。

ただ思う、思えることが幸せなんです。通じ合える幸せと喜びを感じる時間、それが瞑想の時間です。

今をありがとうございます。本当にありがとうございます。

一七五、これからの転生の時間、激動の時を経ています。どうぞ、今世の時間、可能な限り、本当の優しさと温もりに触れていってください。

どこまでも優しく、そしてどこまでも温かい田池留吉、アルバートの波動を、あなたの心

で知っていつてください。

そして、自分自身に、惜しむことなく、その優しさと温もりを伝えてください。

あなたがすることは、これだけです。

これ以外に、あなたがすることなど、本当は何もありません。

人生の目的は、自分を供養していくことだと伝えていただいた以上、そのことに専念することが、田池留吉を信じていることだと思いませんか。

田池留吉が、その人生を懸けて伝えてくれたことに、あなたも人生を懸けて応えていくべきです。

自らの苦しみ喘いできた過去の歴史が心で分かれば、田池留吉が伝えてくれたことは、本当にすごいことだとなっていくでしょう。

あれもよかった、これもよかった、みんな、みんなよかった、みんな、みんな嬉しかった、みんな、みんな喜びだった、そして、本当に自分という存在にありがとうが自然と出てくるでしょう。

そうやって、時を過ごしていくことが幸せだと思いませんか、喜びだと思いませんか。

一七六、お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。

肉を持たずに自分を見つめていけるこれからの時間を経て、私は、あなたから、最後の肉をいただきます。

来世の私が、今、あなたに語りかけています。

私の肉は、あなたからいただく最後の肉なんですね。心の中に、田池留吉、アルバートを呼び起こすための肉、その肉を私はいただきます。

お母さん、これまで本当にありがとうございました。三億六千年の闇の時間、あなたは、私を待つて、待つて待ち続けてくれました。

私は、あなたの思いに、ようやく応えることができました。

これからは、田池留吉、アルバート、そして母の意識とともに、私の心を広げていくだけです。来世の肉は喜びです。来世の肉を、なぜ必要とするのか、この心に伝わってきます。この思いを発信するためです。

肉を持ってきた意識達、肉を持たない意識達、すべての意識達に、発信するために、肉を必要とするのでした。

田池留吉、アルバート、母なる宇宙に帰る意識が語ります。

母なる宇宙を目指して、真っ直ぐに進んでいくことができる今、私の心に、田池留吉、アルバートの思いが語ってきます。

ありがとうございます。よかったですね。私達とともに、田池留吉、アルバートとともに、母なる宇宙へ帰っていく意識であることに、目覚められたことが喜びです。心の中に、たくさんのおいを詰め込んできたあなたにとって、その目覚めを自分の中に呼び起こすことは、とても難しかったでしょう。しかし、はい、あなたが感じてきたように、たくさんのお意識達は、真なる方向を目指していました。それを、私達は、ただただ待ち続けてきただけのことです。必ず、私達に出会えることを、信じて、信じて、待ち続けてきました。

田池留吉、アルバートの思いを受けていけることは喜びです。

私達の思いを受けていけることは喜びです。心の中にある思いは、喜びだけです。この波動の中にすべてがありました。そのことを、あなたは、心で知りました。

もう真っ直ぐに、ただただ真っ直ぐにその道が開けているだけです。

田池留吉、アルバートの意識に目覚めたこと、喜びです。私は、その喜びを、今、伝えていきます。声高らかに伝えることができます。私、田池留吉の喜びを、はい、受けていってください。心の中に喜び、喜び、この波動を受けていってください。

田池留吉、アルバートの波動の世界とともに、心を広げていけること喜びです。

すべてを、私はこのことに懸けてきました。今世の私もまた、愚かな肉をいただきました。しかし、私の中は、このことにすべてを懸けて、今まで存在してきました。

私の思いを、肉は素直に受けてくれて、嬉しいです。

私は、たくさんの宇宙に思いを向けています。心の中の喜び、真実の私を伝えていけることが、喜びなんです。

たくさんの宇宙に思いを向けるとき、宇宙は変わっていくと約束してくれました。

だから、私は、二五〇年後に、肉をまたお母さんからいただきます。

その宇宙達との約束を果たすためです。心の中に呼びかけた思いを、宇宙は果たしてくれる、それは、二五〇年後なのです。

その間、私は、数々の宇宙の意識達とともに、田池留吉、アルバートとともに、存在していきます。

これが喜びでなくて何なのでしょうか。

喜びの時間をいただける私です。私には、その間、肉は必要ありません。

肉を持たずとも、私は、私の勉強を続けていけることを知りました。

心に確信した喜びの世界は、もう本当にすごいです。たくさん意識達の思いを心に受け

られる私は喜びです。たくさん宇宙達に語ることは喜びです。

一七七、それぞれが、それぞれの場で、これから二五〇年の間、学んでいってください。また、学んでいけるような今世であってください。

私は、私を見続けていきます。そのことを、私は、自分の中で感じられたから、幸せです。これからも、ずっと自分を見続けていくことができる、こんなに嬉しいことはありません。

瞑想、それは私と出会う時間、温もりを感じられる時間、そんな時間を持つことが、ただただ嬉しいです。

日々の生活は、淡々と穏やかに過ぎていけば、それで、私は、幸せです。

瞑想を通し、過去、未来が今の一点にあることを感じられるからこそ、瞑想は楽しい、瞑想は喜びです。

たくさんさんの意識達が待っています。私の中の宇宙、たくさんさんの意識達が待っていてくれます。その宇宙とともに、私は、私を見続けていくこれからの時間です。

予定通りのコースを歩ませていただいています。

私は、私に、この温もりの世界、喜びの世界を伝えていけることが幸せです。

田池留吉が言った言葉が思い出されます。

「田池留吉、アルバートを十信じていれば十の愛が流れる、一しか信じていなければ一の愛しか流れない。」

意識の世界は、正直です。だからこそ、嬉しいです。

一七八、自分に愛を流しながら、愛溢れる自分を見つめながら、存在していく、存在していることが、本当の喜びの道、幸せの道。

瞑想の中で、自分に応えてくれる自分を思うとき、こんなメッセージが伝わってきました。何とも言えない幸せを感じます。

心から、ありがとうが溢れてきます。

何も持たなくても、私には、自分を優しく温かく抱き止めてやれる私がありました。

今の私は、形の上からは、物に溢れています。満ち足りた生活をしています。そして、来世の私は、何も持ちません。ただこの心が、これからずっと学び続け成長します。何も持たない私に、本当の素晴らしさを心が伝えてくれます。

私は、この心ひとつで本当に幸せです。本当の喜びは私だから。私がここにいればそれでいい。

こんなことをサラリと言うのです。

そして、その心は、すでにもう宇宙とともにある喜びを溢れさせているのです。

宇宙に思いを馳せるとき、そして、宇宙の中にひとつになっていく私の近未来、それを思うとき、私は、ただただ嬉しいのです。

近未来、そう、それはもう、そんなに遠くない出来事です。

三次元にありがとうを告げ、次の学習が待っています。

一七九、あなたは、これまで、瞑想を続けてこられて、何か変化がありましたでしょうか。

変化というのは、自分の心の状態です。

私自身は、去年暮れから、少し瞑想に集中的に取り組みました。そうできる時間をいただきました。

そして、約三週間が過ぎようとしています。

今、自分の心を見た時に、以前にも増して、何か自分の心が定まったというか、そういう感じですよ。

今世の時間のみならず、来世の肉を持つまでの間、自分はどのような状態であるのか、少

し具体的に自分の中で分かったということに起因しているかどうかは定かではありませんが、とにかく、三週間が過ぎた今、私は、自分の中で、何かまた余分なものが落ち去ったというか、すっきりしたというか、さらに集約されたというか、そんな感覚です。

この私の心の変化は、いづれ形の世界に現象化していくものだと思っています。

そして、それは、必ず宇宙にとって、プラスのエネルギーとして仕事をしていくでしょう。瞑想はパワーです。瞑想をすることによって、愛というパワーが流れていく、宇宙に流れていく、そう、それが私の喜びであり、幸せなんだ、今、私は、真面目にそう思っています。

田池留吉、アルバート、ありがとう。宇宙が変わっていくことが嬉しいです。ありがとう。

一八〇、瞑想より

田池留吉、アルバート、心を向けると、はい、語っています。語ってくれます。波動で、私の中に語ってくる優しさ、温もり、この世界を私は、いつも、いつも感じています。

田池留吉、アルバート、その宇宙は、本当に喜びです。心の中に温もりが広がっていく。目を閉じて感じる世界は、喜びです。

私の中には、本当に何もありません。ただただ、田池留吉、アルバートの宇宙に出会えて

いる喜びを感じるだけです。母の温もりの中にあつた私を感じています。それ以外に何もありません。

ただただ喜び、ただただ温もり、そして広がっていく世界です。この大きな、大きな温もりの中に、私達はひとつを感じます。

心に向ければ、その世界が広がっていきます。

どうぞ、瞑想をする中で、異語で語り合ってください。心の中を、どうぞ、どうぞ、異語で語っていきましょう。

あなたの中は、待っています。あなたの中は待っているんです。

温もりを伝えてください、温かい思いを伝えてください、優しい思いを伝えてください、そんなあなたが、あなたの中で待っています。

瞑想をする時間、自分と語り合う時間、そして、田池留吉、アルバート、その宇宙に心を開ける時間、何よりも、何よりも大切にしてください。

あなたが肉を持っている今だからこそ、そして、田池留吉が肉を持っている今だからこそ、田池留吉、アルバートを呼ぶことができるのではないのでしょうか。

どうぞ、あなたの現実をきちんと把握してください。

そして、今だからこそできる勉強を、きちんとやっつけていってください。

一八一、田池留吉、アルバート。はい、私の意識は、次元を超えたところから、私は、私を見つめていると感じます。次元を超えた私が、今、私に伝えているんです。これからの時間の中で、私が私に伝えていくでしょう。次元を超えている私にここに感じられるからこそ、田池留吉、アルバートとともに歩いていきましょう、さあ、皆さん、次元を超えていきましょうとメッセージを送ることができます。

私の中で、次元を超えて存在していくことは、もうはつきりとした事実です。すべては意識の世界の出来事です。私は、それをこの三次元の中で、知りました。自分の意識の世界を知りました。

そして、私は、その先の私もまた感じつつあります。

今、そこから私は私にメッセージを送っています。

心の中に思いをもっと、もっと向けましょう、そう、私は、私に伝えているんです。これから、どんどん変わっていくことを私は私に伝えてきます。もちろん、今世の時間、そして二五〇年の時を経て、私は再び肉を持ちますが、その私もすべて含め、私は本当に変わっていくことを

伝えてきます。

すべては喜びにいざなわれている私達であることを、私は私に伝えています。

今、この次元を超えた中から私が私に伝えるメッセージを通して、私は自分を見つめていくことができるのです。

田池留吉、アルバート、心をともしともに見させていただいたこと、喜びです。ともに、ともに存在していけること喜びです。

私達には、はい、何もありません。ただただ、ただただひとつ、その世界があるだけです。心と心を通じ合わせていけること喜びです。

今、私が私に伝えているメッセージ、これからも、私は私に伝えてまいります。次元を超えた私の喜びをこれからも伝えていきます。

肉を持ったことを喜んでいきましょう。肉があればこそ、私を知っていったのです。その意識の世界を知っていったこと、喜びです。

そのように、私は、私に伝えました。

一八二、私は、今、自分の道をただ真っ直ぐに見つめています。

今という時間は、自分を見つめ、自分を感じる時間であり、自分を育てる時間だと認識しています。

目覚めから自分の中をさらに広げていく、自分の世界を広げていく喜び、自分を育てていく喜びを、私は感じています。

真実の波動の世界との出会いが叶ったからです。

私は、私と向き合う喜びをひしひしと感じています。

私と向き合うことは、田池留吉、アルバートを思うことです。

田池留吉、アルバートと思えば、意識の世界で通じています。

今世、ようやく、そのパイプが通じたのです。一方方向ではなくて、双方方向で通じるこ
とができたのです。

そのパイプを太く頑丈なものにしていく作業を、私は、楽しみながら続けています。

その作業が、これからも継続できるところに、私の喜びと幸せがあることを確信しています。
思えば通じる世界、しかも、それは温かい温もりと優しさを広げてくれる世界、そんな中
に私は存在していたことに思いを馳せながら、瞑想をしています。

瞑想より

お母さん、私は、幸せです。お母さん、ありがとうございます、私は、幸せです。

母の意識に対して、「お母さん、ありがとうございます、私は、幸せです」こんな思いを伝えることができ、本当に嬉しいです。

母の意識に対して、母の温かい優しい思いで応えていける私が嬉しいです。

私は、幸せです。お母さんに向けて、この波動で応えていける私がここにいるから、幸せです。

母を求めて、宇宙の中にさ迷ってきた私の中のたくさんの意識達に、今、私は、ずっと、ずっと異語で応えているんです。

たくさんの意識達に異語で応えています。

「はい、母の中に帰ってきなさい。母の温もりの中に帰ってきなさい。私達は、喜びでした。私達は温もりでした。母のもとに帰れる私達は喜びです。」

そうやって、私は、宇宙に向けて、いつも、いつも呼びかけています。

心の中に、この思いに応じてくる宇宙達の喜びを、私は、心に感じます。

そんな宇宙達を抱えて、私は、これからも、ずっと、ずっと存在していくんです。これが私の喜びです。

たくさんの喜びをいただきました。母からたくさんの喜びをいただきました。そして、私は、自分に、その喜びを伝えていくんです。

母は、ずっと待っていてくれました。それが今、私の心の中に喜びとして広がっています。

一八三、言葉は多く出さなくてもいいんです。言葉は添えるだけでいいんです。

あなたが、本当の温もりと優しさの田池留吉、アルバート、その世界を心で感じていたならば、その波動はあなたから流れています。

言葉は、ただ、それに添えるだけでいいんです。

あなたから、確実に優しい温もり、本当の波動の世界が流れているのです。

その波動が仕事をします。波動はエネルギーです。パワーです。

言葉は、それを、少し相手の人に促す役目をします。

語るとするならば、異語でしょう。

異語は、パワーです。異語は、優しさです。異語は、温もりです。

本当のことを、意識と意識の繋がりの中で、異語は本当のことを伝えます。

波動で伝えます。

だから、あなたが瞑想をするとき、異語が出てくるでしょう。

異語は私です。異語は田池留吉、アルバートの波動です。田池留吉、アルバートの波動とともに異語を語っている、異語で心を通じ合わせ、宇宙に思いを向けるあなたの喜びは、ただただ宇宙に流れていくんです。

そうやって、瞑想を続けていくことが喜びなんです。

喜びはパワー。喜びは仕事をします。宇宙に流れて、そして喜びの宇宙へ帰っていく仕事をします。

優しい、優しい温もりの、そして力強い波動を、心から流して行ってください。これからも、私、田池留吉、アルバートのほうに心に向け、どうぞ、喜びのエネルギーを流して行ってください。

一八四、三億六千年の長き時間に亘る自分を振り返る今を、いただいています。

心の中に、振り返る喜びを感じています。苦しい、苦しい中を生き続けてきた自分自身を振り返ることは、喜びです。

それは、私自身が喜びだと、本当に知ったからです。

これからの時間を、私は、喜び、喜びで存在していくでしょう。

自分の中に、確立した世界があります。母の温もりに支えられ、ずっと、ずっと、母の温もりの中に存在してきた私が出たことを、今、私は、心の中に蘇らせています。本当にありがとうございました。三億六千年という時間、私にとってかけがえのない時間でした。

それを、これからの僅かな年数で、私は、肉というものを、しっかりと見つめていきます。来世に生まれてくる私を含め、肉というものをしっかりと見つめていきます。

母の温もりを心に知った私は、もう間違いなく喜び、喜びの世界へいざなわれていきます。私は、そう、自分の中に、はっきりと伝えることができることが嬉しいです。

お母さん、ありがとうございます。田池留吉、アルバートの真実の世界と出会わせていただき、ありがとうございます。

三億六千年、そして、そのずっと遙か以前から、苦しみ続けてきた意識でした。それは、すべて、自分を見失ったからです。母の温もりの中にあつた自分を忘れ去ったからです。私は、本当にそれを心で知ったのです。自分を捨てた自分を知りました。そんな私が、自分を蘇らせたのです。だから、私の道は、もう真つ直ぐです。

喜び溢れる道を、私は、一步、一步この歩みを進めていきます。その中で、私は、さらなる宇宙を感じていくでしょう。母なる宇宙に思いを向けるとき、心の中に何とも言えない広がりや温もりと優しさと喜びの、本当にすごい世界があります。

私の中で、母なる宇宙は、しっかりとした世界です。

いつも、いつも、このように待っていてくださったんですね。母なる意識に、ありがとうございます。私の宇宙達よ、この思いを心に感じていってください。

心の中で、苦しみ喘いできた宇宙に、私は、たくさんのおいを、喜びを伝えたいです。波動として伝えたいです。

宇宙に思いを向ければ、私の今感じている喜びが伝わっていくでしょう。

そのエネルギー、そのパワーは、宇宙を変えていきます。私の中に、そのように伝わってきます。

田池留吉、アルバート。はい、心に向けること、喜びです。

田池留吉、アルバート、心に向ければ、通じ合う世界があります。いつも、いつも話ってくれています。たくさんのおいを繰り返してきた私の心の中に、いつも、いつも、絶えず、絶えず、優しい波動を送ってくれていた、それが私自身でした。田池留吉、アルバートは私でした。

私の中の温もり、優しさでした。私は、本当に嬉しいのです。

ひとつとということが、本当に嬉しいのです。

私は、私しかいなかったんです。この喜びと温もりの私しか存在しなかったんです。それを捨て去り、忘れ去った私の中から、苦しみエネルギーが流れていきました。

宇宙を汚してきました。申し訳ございません。今、私は、田池留吉、アルバート、その波動の世界にある自分を感じ、本当に自分に申し訳なかったと思っています。そして、心より、私にありがとうを伝えたいです。

今まで、待っていてくれていて、ありがとう。本当にありがとうございます。私は、この私を大切に、そして、何よりも、何よりも、思っていていきます。

田池留吉、アルバート、私は、あなたの中にいます。あなたと私はひとつ。私は今、そのことを感じ、心より、喜びを伝えています。

自分を捨てた心に出会って行ってください。

自分を切り捨てた思いと出会って行ってください。

心で出会ってください。

一八五、未来の宇宙から私の宇宙を語ります。

パワーを求めて、たくさんの宇宙の中にさ迷ってきた私の中に、田池留吉、アルバートが応えてくれます。

温もりの世界の中に心を広げていくことを、指し示してくれました。

遠い、遠い昔、遥か彼方より、私は、田池留吉、アルバートの宇宙を目指して、ずっと存在してきました。

宇宙に心を向けるとき、その思いが心に響いてきます。

どれだけ待ち続けてきたことか、自分の中に思いを向ける時、本当に長い時間を経て今に至っていることを感じます。

遥か、遥か彼方の私を感じます。

お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。今は、ただただお母さんに思いを向けていくだけです。

本当に嬉しいです。お母さん、間違い続けてきた真つ黒な、真つ黒な中に、私は、ずっと自分を沈めてきたことを、瞑想をするたびに感じます。それでもあなたは待っていてくれました。

本当に待っていてくれたんです。本当の私が私を待っていてくれたんです。心から感じます。本当にありがとうございます。お母さん、あなたを思うとき、私は涙が止まりません。何故だかたくさん涙が出てきます。

あなたを思うだけで、涙が出てくるんです。苦しい中を生き続けてきた私に、あなたの思いがようやく届いたから、私に喜びの思いが届いたから、とても嬉しくて、ありがたくて、幸せです。

今のこの時間、私は、大切に、大切にしていきたいと思います。
今、喜びの中で、遥か彼方からの私を思っています。

私は、私の肉を見ていません。私の肉を見ていない。私の思いを感じています。ただただ私の思いを感じています。

私は、私を思って瞑想をしています。心の中に喜びが広がってきます。本当に不思議なくらいです。私は、私を嫌ってきました。なのに、今、私は私を思い、ただただ思いを向け、瞑想をするとき、私の中は、嬉しい思いでいっぱいです。優しい私を感じます。だから、瞑想は楽しい。瞑想は喜び。優しい私と出会えるから、温もりの世界がここにあるから、だから瞑想は幸せを感じる時間です。

一八六、自分を落とし込めることなく、生まれてきた自分を喜んでいくこと、それだけです。

生まれてきた自分を喜んでいくこと、それが、どれだけの愛だったのか、心に響いてきます。瞑想をすれば、心に響いてきます。

地獄の奥底に沈んできた自分だからこそ、今という時を大切にしていってください。皆さん、どの方も同じです。誰一人例外はありません。

私は、宇宙を感じる時、この思いが痛烈に心に響いてきます。

瞑想を続けていけることが幸せです。ただただ喜びです。

「何も持たなくてもいい、ただこの心ひとつ」来世の私がすでに伝えてくれています。私は、本当の自分を求めて、求めて存在してきた心でしたと伝えてくれています。来世の私の心が語り、そして、ともに宇宙に向けて瞑想をしている今という時間です。

そして、過去からの私とともに、私達は語ります。

「宇宙を思えることは幸せです。宇宙を思うことは喜びです。

宇宙は喜びです。私は喜びです。私は温もりです。ただそれしかありません。田池留吉、アルバートに心を向けると、そのように伝わってきます。

これが私でした。私の世界でした。私は、この世界を自分で捨て去ってきました。本当に愚かでした。今、宇宙に向ける瞑想をするとき、この思いだけが蘇ってきます。」

二五〇年、三〇〇年、それから先、私は、ずっと、ずっとこの喜びの思いを心に広げていく意識です。

本当の私を信じて、信じて、待っていてくれたお母さん、たくさんのお母さんの意識、たくさん私の私、すべてに、すべてにありがとうございます、それしかありません。今、心からそう言える私は、幸せです。

一八七、素直になつて、ただ田池留吉、アルバートを思うだけです。

私は、いつもそうしているだけです。宇宙を、ただ思っているだけです。

思えることが喜び、私は、今、そんな状態です。

そう、思えること、それだけでいいんです。思えば通じていると知っているからです。

ふっと思う、ああ波動なんだ、優しい思いが広がっていく、ああ、いつもこうして存在していけばいいんだと、嬉しいんです。

田池留吉、アルバート、ひとつの方向を向いて存在していることは、幸せですね。私は、それをしみじみ感じています。

私には、田池留吉、アルバートの波動、田池留吉、アルバートの宇宙があります。だから

思うことが幸せであり、それが私の喜びなんです。

形を信じ、他力のパワーを求めてきた人間の意識の世界を変えることは、そんなに容易いものではありません。

真つ黒なドロドロのヘドロの中に落ちてしまった中から、自らが這い上がってくるのは、それは大変です。ただ単に汚れがついているというのではなくて、ヘドロだから、それは、もう心にこびりついている状態です。

そんな心の状態だということを、私達は、これまでの年月をかけて、学んできました。そして、ヘドロを溶かすのは、母の温もりだけということも学んできました。

あなたの今の心の状態は、どのような状態でしょうか。

自分を裏切り続けてきた心、自分を切り捨ててきた心、本当に見てこられましたか。瞑想で、その心と出会っていますか。

その心は、今、何を伝えていますか。嬉しい、幸せですと言っていますか。

お母さん、ありがとうございます、心から叫んでいますか。

訴えてくる心に、あなたは、何を伝えていますか。

一八八、あなたにとって、学びとは何ですか。田池留吉とは何ですか。

そして、あなたの基盤はどこにありますか。

田池留吉が、すべてを懸けて伝えてくれたことに、あなた自身、どの程度応えていますか。
あなたは、本当にご自分が地獄の奥底から生まれてきたことを感じていますか。

いくらでも、自分に問いかける項目はあるでしょう。

日々、瞑想を重ね自分に問いかけ、それでも今世の時間では、到底足りないでしょう。

そんな真つ黒な意識を背景に、今世ひとつの肉をお母さんからいただいたことを、あなたは、
今どのように感じていますか。

意識の流れは、次元移行に照準を合わせ、粛々と流れています。やがて、その流れは、天
変地異という形で、はつきりと示されていきます。

田池留吉の意識は、そのことを伝えにきてくれました。三次元にいる私達にそのことを告
げにやってきてくれました。そして、私は、それを心で受け取りました。心で受け取ったので
す。だから、私の意識の世界に革命が起こりました。目覚めです。宇宙は目覚めたのです。そ

れは、暗黒の意識の世界からすれば、本当に大きな出来事でした。

私は、それをただ伝えるために、この肉を使っています。これからもそうするでしょう。来世もまた然りです。

私の意識の世界というか、学びの流れは、もうそういう段階になっています。意識の流れをただ遂行していくために今があり、その今を心から喜んでいる私があります。

今世、心に受け取ったメッセージを、一五〇年後に繋ぎ、そして、次元移行を遂げていく、その予定のコースを私は、ただ真つ直ぐに歩んでいくだけです。

一八九、はい、私は、たくさんの宇宙を感じます。こうやって、目を閉じて宇宙に向ける時、たくさんの宇宙を感じるんです。心の中に、田池留吉、アルバート、その波動を感じたい、喜びの思いを自分の中に広げていきたいとするたくさんの宇宙を感じます。

そうですね、心の中に、田池留吉、アルバートはありました。母の温もりがありました。私は、心からそのように呼びかけています。

私は温もりでした。心の中に温もりが広がっていくんです。

お母さんに思いを向けるとき、心の中に喜びが広がっていきます。

真つ黒な中に生き続けてきた私の中には、今、喜びが確実に広がっています。田池留吉、アルバート、心の中にそう呼べる私は幸せです。

時間と空間を超えて、私は、今、ここに存在しています。

お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。

はい、心を語ることは喜びです。心を語ることは喜びです。心を語りなさいと私は、すべての意識に促してきました。

田池留吉、アルバートに向けて、あなたの心を語るんですよ、喜びも悲しみも苦しみも何もかも、すべてあなたの心を語るんですよ、そうやって、私は、皆さんに呼びかけてまいりました。

心を語ることは喜びなんです。真つ黒な中に生き続けてきた自分の心を語ることは、喜びなんです。

そうやって、私は、ずっと、ずっと三億六千年、いいえ、もっと、もっと遥か彼方より、私は、あなた方に呼びかけ続けてきました。

そして、ようやく、私は、今ここに、私の呼びかけに応じてくれる意識に出会いました。そうです、私達は、次元移行を目指して、次元を超えていくことを目指して、私は、ここに、三

次元の中に降り立った意識であることに目覚めてくれたんです。私は、とても喜びです。

田池留吉、アルバートを心の中に本当に呼んでくれる意識との出会いを、果たしたことが、私には喜びなんです。

私の肉は、もうまもなく、この世から去っていきます。

そして、私を呼べる意識、そう、私をしつかりと呼ぶことを、今、学んでいつているんです。田池留吉、アルバートを呼ぶことは、簡単なことではありません。

私は、そう、皆さんに呼びかけているのですが、皆さんは、まだまだ甘いのです。

私、田池留吉の意識、アルバートの意識を呼べると思っているんです。そんな簡単なことではありません。田池留吉、アルバートの意識を呼ぶことは、とても難しいです。私は、皆さんに、そのことを伝えていっています。

そして、私はまた、今、学ばなくて、いつ学べるのでしょうかとも、皆さんに呼びかけているんです。ホームページを通して、呼びかけています。

確かに、私、田池留吉の意識、アルバートの意識に、はい、私のほうに心を向けて、そうやって学んでいこうとする人は、確かに増えました。

しかし、どうでしょうか。

心の中に、たくさんの、たくさんの他力のエネルギーを詰めたまま、私、田池留吉、アル

バートのほうに、心を向けようとしているたくさんの人達もいます。だから、私に伝えても、まだまだ皆さんは、しっかりと心を向けることできないのです。

それが、私には、残念で仕方ありません。

私は、その人達一人ひとりに、本当は、お伝えしたいのです。

しかし、いずれ、気付いていくでしょう。それがあなた達のこれからの転生です。

二五〇年にかかる転生の中で、あなた達は、大変な時間の中で、そのことに、ようやく気付いていくかもしれません。

それほど難しいのです。ずっと、ずっと、他力の中に沈んできたエネルギーです。それを、今世の僅かな時間の中で、喜びの中に繋げていくことは難しいです。私は、そのことを、ただただ伝えたいのです。

私の意識は、今、真っ直ぐに次元移行を目指しています。

その意識とともに、私は存在しています。私は、しっかりと心を、田池留吉、アルバートに向けることを伝えました。

意識を繋いでいくこと、それが本当に喜びだということ、それを、本当は皆さんに伝えたいのです。

皆さんは、まだまだ甘いのです。甘い中にいます。

私も田池留吉のメッセージを受けられるよ、そうやって、己を表している意識がたくさん、たくさんあります。その人達の意識の中には、たくさんの方のエネルギーがあります。他方のエネルギー、真つ黒なエネルギーを流し続けています。

いずれ、この学びから心を離していく人達も出てきます。形は分裂ということでしょうか。私、田池留吉の肉がなくなった後は、この学びは分裂していきます。ああそれでもいいんです。しっかりとこの学びを繋いでいける意識があるからです。

この学びを続けていってください。これから二五〇年に続けていくことです。天変地異とともに、私達は存在していきます。

田池留吉の肉がなくなっても、あなたの肉がなくなっても、この学びは続いていきます。それを私は、お伝えします。

一九〇、私は、今の肉の母に対する反省を入り口として、母の意識に対しての反省を重ねてきました。

温もりに背いてきた自分を、しっかりと確認してきました。

今の肉の母を通して、母の意識に部厚い隔たりを自分の中で作ってきた自分と向き合い、そ

れがどれだけの苦しきだったのか、どれだけの愚かさだったのか、本当に私の世界は、温もりを捨て去った暗黒の閉ざされた世界だったことを、自分の中で確認してきました。

確認すればするほど、そんな自分に、ただただ懺悔の思いしか出てきませんでした。

温もりを捨て去り、温もりに反逆してきた心、その心との出会いを、田池留吉の肉は促してくれました。それが、セミナー会場における闇出し現象でした。

私は、私と出会ったことがたまたまなく嬉しかったのです。温もりを捨て去り、温もりに反逆してきた心が、温もりを伝えてくれたからです。

とても信じられなかったです。しかし、信じられない心の中から、溢れるほどの思いが、堰せきを切ったように流れ出してくる体験を、何度も積み重ねてきました。

母の意識に対する反省が進まない限り、自分を変えることなどできません。心の中に詰め込んできた他力のエネルギーは、それは、それは、すごいのです。

皆さん、もうそんなことは、重々承知しておられると思います。

しかし、それは頭ではないでしょうか。頭で知ることと、心で知るとは違います。

私達には、心しかないのです。あなたは、心ひとつで存在していけますか。

一九一、田池留吉、アルバート、地球を思ってみます。

私達が、今、生活をしているこの地球を思ってみます。

地球は意識。優しい、優しい意識を感じます。地球は、私達に優しさを、絶えず、絶えず伝えてくれました。

母なる宇宙の中にある意識、そのひとつが、形となって表れてきた地球です。その地球に、私達は、長い、長い間、肉という形を持って自分を見つめる時間を用意してきました。

地球に思いを向ければ、地球よ、本当にありがとう、そのような思いが湧いて出てきます。私達が流してきたエネルギーを、その中に受けてくれた地球の優しさです。

どんなに凄まじいエネルギーで、私達がこの地球上で存在してきたか。ああそれにしても、地球から返ってくるものは、ただただ優しさです。温もりです。気付きを、促しを、与えてくれていました。

今、私は、母なる宇宙の中にある地球を思っています。

地球は、応えてくれます。

あなた達が、私達の中に流してきたエネルギー、そのエネルギーを、私達は、これから、あ

なた達に戻してまいります。

しかし、私達が、あなた達に返していくのは、ただただ喜びだけです。

喜びの思いで、あなた達が流してきたエネルギーを返していくのです。そのことを、どうぞ、それぞれの心で感じていってください。

私達のこの思いを受け取っていってください。天変地異という形で、私達は、あなた達に返していきます。

母なる宇宙の中にある私達です。宇宙と心をひとつにして、私達の中から、天変地異という喜びのエネルギーを流してまいります。

どうぞ、地球上に肉を持つ意識達よ、この天変地異の喜びのエネルギーを受けていってください。

そして、どうぞ、気付いていってください。自分達の本当の姿に気付いていってください。それが、これから、二五〇年、三〇〇年の時間です。

私達地球の意識を、どうぞ、どうぞ、しっかりと心で受け止めていってください。私達は喜びです。母なる宇宙の中にある喜びの意識です。

宇宙、その意識の世界から、喜びのメッセージを感じます。

今、私は、地球の思いを聞かせていただきました。

遙か彼方の宇宙から、この地球を目指してエネルギーが集合してきます。

形としては、いん石がぶつかってくるという現象かもしれません。

しかし、それはすべて、宇宙に広がる喜びのエネルギーです。その中で、地球という星も、喜びのエネルギーを噴き出していきます。

そうやって、宇宙はひとつになり、喜びのエネルギーが満たされていくのです。

すべては、母なる宇宙の中の出来事です。温もりの中の出来事です。これこそが、愛の中の出来事なんです。

地球は、自らの軌道を変えていくでしょう。それほどのエネルギーを以って、私達真実を知らない意識に、伝えてくれるのです。

一九二、母なる宇宙の中で、みんな心をひとつにして、喜びに帰っていくことが待たれています。私達は、この青く輝く地球という星に降り立って、長き時間を経てきました。

すべては、母なる宇宙に帰るためです。

地球にありがとうの思いを寄せて、私は、あと少しの間、この空間に存在します。

今、自分に思いを向け、そしてこの地球とともに過ごしてきた時間に思いを馳せるとき、ここに降り立ち、そして、数限りなく、肉という形を持たせていただいたことに、万感の思いを感じます。

母なる宇宙への道筋をしつかりとつけ、優しかった地球に別れを告げていくことは、喜びです。

お母さん、今世、田池留吉、アルバートの意識との出会いをありがとうございます。お母さん、私は、あなたのもとに帰ります。こんな嬉しいことはありません。こんな喜びはありません。それを、あなたに伝えたかったです。ありがとうございます。本当に長い間、待っていただきました。

お母さん、ありがとうございます。

田池留吉、アルバートの心に心を合わせていきます。その心に心を合わせてまいります。

田池留吉、アルバート、そのように呼べる私を、今、心に感じています。

田池留吉、アルバート、私は、田池留吉、アルバートでした。

温もりの私が、そのように伝えてきます。

田池留吉、アルバート、二五〇年後に出会うアルバートの意識に、今、私の意識を繋いでいます。田池留吉、アルバートの意識とひとつ。私は、その中から、今、心で語っています。温もりの私を信じなさいと伝えてくれた私を、心で感じています。

ありがとうございます。私は、何も要らなかつた。何も要りません。心ひとつで、私は、存在していくことができます。

この心の中に、これからたくさん意識達、宇宙がアクセスしてくるのです。私は、それを喜びとして受け取っていただけるのです。

心が私でした。温もりが私でした。この心から、田池留吉、アルバートの心を伝えていくことができます。

宇宙達の喜びを、心で感じ、私は、さらなる喜びを伝えてまいります。

心の中に田池留吉、アルバート、ありがとうございます。よくよく心を見て、私を繋いでくれた私に感謝です。

感謝しかありません。心からありがとうございます。

一九三、ただ一点だけを見つめていけばいいのです。心をただ一点に合わせ存在していけば、

いいだけです。

その一点を私は知りました。温もりと優しさ溢れる自分自身でした。

それが、田池留吉、アルバートの意識の世界でした。

私は、その中にひとつに溶け合っている意識でした。

だから、私は、ただ一点だけを見つめ、これから存在していただくだけです。

来世に再び肉を持つ私の意識は、然るべき時に、この一点を噴き出していきます。

この流れの中にあることを感じ、私は、ただただ嬉しい、ただただ幸せです。

田池留吉、アルバートの心に心を合わせ、そして存在していくのです。

それが、本来の私達のあるべき姿です。私は、それを心で知りました。

真実が、はつきりと形になって現れてくるこれからです。形あるものは、悉く崩れ去って

いく中で、心は何を叫ぶのでしょうか。

心の叫びを、大きく、広く、優しく、そして、どこまでも温かく受け止めていけることを

知っていきましよう。

優しさや温もりの中にあつた自分を蘇らせるために、すべてを計画していきます。

そこに広がっていくのは、喜びだけです。ありがとうの思いだけです。

本来の自分に帰っていく喜びだけが存在します。

一九四、瞑想より

お母さん…、お母さん…。

田池留吉、心の中に、喜びが広がっていきます。心の中にお母さんの温もりが広がっていく…。
田池留吉、アルバート、嬉しいです、嬉しいです。心の中に田池留吉、アルバートを呼んでいることが喜びです。喜びの中にいます。私は、喜びの中にいます。

お母さん、ありがとう。心からありがとう。心からありがとうございます。

みんな温もりの中から生まれてきました。私達は、温もりの中から生まれてきたんです。そんな私達に、田池留吉、アルバートは伝えてくれました。

そうですね、あなた達は、温もりでした。この喜び溢れる世界があなた達の世界なんです。

私達は、そのことを伝えにやってきました。心を、どうぞ、田池留吉、アルバート、その方向に合わせるように、合わせるように、ただただひたすらにそのことをやり続けてくださいと、私達は、ずっと、ずっと伝えてきました。

心を田池留吉、アルバートの方向に向けること、それだけがあなた達の喜びです。そうやって、私達は伝えてきました。

田池留吉、アルバートを、心の底から呼べるあなた達の喜び、幸せは、とても、とても大きなものです。私達は、そのように伝えていきます。

どうぞ、どうぞ、心を、しっかりと合わせるようになさって行ってください。

田池留吉、アルバートを呼べる意識は、幸せです。とても、とても大きな世界が、心に広がっています。

それは、すべての意識達を、その心で包んでいける喜びの中にあるのです。

すべての意識です。宇宙にさ迷うすべての意識達に、思いを向けることができます。今、私達は、そのように伝えていきます。

どうぞ、心を宇宙に、そして、田池留吉、アルバートに向けて行ってください。

お母さん、私は、もう何も望むものはないんです。お母さん、あなたの温もりを私は知りました。心で知りました。

これは、本当に私にとって、大きな、大きな出来事でした。

お母さん、ありがとう。ただただお母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう、その思

いだけが込み上げてきます。

温もりを捨て去った私の心の中に、あなたの温もりが蘇ってきました。

そんな今世でした。私のこの今世の時間を経て、これからの時間を過ごしてまいります。

温もりを心に蘇らせた私に、喜びの私が私をいざなってくれる間違いない世界に、私は、これからずっと、ずっと存在していくのです。

一九五、瞑想より

瞑想する時間が、最高に嬉しいです。瞑想をすれば、田池留吉、アルバートと出会います。私の中の温もりの世界に出会えます。私の中の宇宙は、喜んでいきます。優しい、優しい私と出会える時間と空間です。今をありがとうございます。

はい、田池留吉、アルバート、私は、この意識の流れに沿って、ただ存在していくだけです。私の中には、大きな、そして確かな流れがあります。

喜びが私をいざなってくれています。

目を閉じて、私を思うとき、私は、喜びの中に流れているんです。

この流れとともに、私は、どこまでも、どこまでも存在していきます。

流れは、田池留吉、アルバート、母の温もりです。

私は、私を思うことが喜びです。田池留吉、アルバート、私は、私を思うことが喜びなんです。心の中に溢れてくる優しさ、温もり、そして喜び、この世界が私の世界でした。

お母さんに伝えていただいた通りでした。私は、私を思っています。

心の中に広がっていく優しさと温もりです。ただ思うことが喜び、思えば喜びが溢れてきます。喜びが、どんどんどんどん私の中から溢れてきます。

喜びだけしかありません。温もりだけしかありません。

本当の私が私を待ってくれていた喜び、そんな中に、これからずっと自分を広げていける喜び、心で知った私は、本当に何も要りません。

私には、こうして目を閉じて、ただ自分を思える静かな時間と空間が用意されています。その中で、自分を広げていける喜びに優るものなんて、何もないことを、感じています。

一九六、私の中の田池留吉、アルバートの意識が語ります。

心を田池留吉、アルバートに向けること、喜びでしょう。喜びの中に私達はいるんです。

田池留吉、アルバートの宇宙を心に思うこと、それは、本当に大きな喜びです。心を田池留吉、アルバートに向けること、それが、大きな喜びです。

ただただ喜びです。今、私は、田池留吉、アルバートの宇宙を思っています。

心の中にすごいエネルギーを感じます。このエネルギーが、これから、二五〇年、三〇〇年とこの地球に、そして宇宙に流れていくんです。

心の中から流れていくこのエネルギー、喜びのエネルギー、ありがとうございます。

心を田池留吉、アルバートに向けることを学ばせていただきました。お母さん、ありがとうございます。心の中に、温もりが広がっていく、私の中にあなたの優しさが広がっていきます。お母さん、ありがとう。

どこにいても、何をしていても、ふっと心を向ける、心を合わせる。そして、私は、その中に生きていることを感じています。

それが私の生活のリズムです。そうです、私は、私の中に生きています。何ともいえない優しさと温もりの中に私は生きています。

田池留吉、アルバートは私の流れです。この流れに流れていけばいいだけ、いつも、い

つも私は私と語りながら、流れを感じながら、存在していけばいいだけです。

一九七、私の今世の人生は、合格でしょう。三億六千年という時間の中で初めて、自分に合格点が出せます。

嬉しいのです。このまま、私は、今世残された肉の時間を、喜んで通過していきます。

そして、肉を離せば、私は、またそこから自分の学びが始まります。

自分と自分の中で、しっかりと今世学んだことを実践していきます。

実践していける目処がつかないから、私の今は幸せです。

過去も現在も、そして未来も、私の中で喜び、喜びと変わる分岐点を、今世の肉を通して体験させていただきました。ありがとうございます。

肉をなぜ持つのか、本当にその意味を心で理解できたからこそ、私のこれからの展望は、ますます開けていきます。

明るい自分の未来に向けて、私は、喜びで歩いていきます。

未来は明るいのです。

過去とともに、未来を見つめる今、すべては、田池留吉、アルバートその宇宙の中にひとつの喜びを、この地球という星に降り立って、ようやく心で知ることができました。

この星は、最後の役目を果たしてくれませう。私達に、変わることはない優しさと温もりを伝えてくれてきた地球でした。数限りない転生、その中で出してきた凄まじいエネルギーを、ただ受けてくれた星でした。

一九八、心の中にある宇宙を語ってみてください。

温もりにいざなわれて、心を語ることをしています。

心をいつも、いつも語っています。冷たく暗く閉ざされた中から、この中から、私は、今、温もりにいざなわれて、ようやく心を語ることができました。今世の肉を通し、私は、心を語る事ができました。

私の中の宇宙は喜んでいきます。暗く、暗く、冷たく、冷たく閉ざされた世界に、ようやく母の温もりが届いたのです。

初めは少し、そして、今、大きな、大きな温もりが、広がりが、心に感じられます。

感じれば感じるほど、心を語りなさい、語りなさい、語りなさい、そんな思いが、湧いて出てきます。

すべては狂ってきた、真つ黒な宇宙を、今、私は、しっかりと見つめています。喜びの思いで見つめています。

私は、この宇宙とともに、ずっと、ずっと存在し続けてきました。そして、これからも、存在していくのです。

宇宙が変わる今世でした。

田池留吉、アルバート、母なる宇宙に帰る私の意識を、今ここに感じます。母なる意識、母なる宇宙の思いを心に感じます。

冷たく閉ざされた世界に、母なる宇宙の思いが届きます。

この思いを、これからの時間をかけて、隅から隅まで、大きく、大きく広げてまいります。

田池留吉、アルバート、その宇宙の中に生き続けてきたことを、私は、すべての宇宙に伝えていくことができる、それが、これからの二五〇年の時間なんです。

私には、肉がありません。しかし、いつも、このように私は私と語ることをしていきます。

二五〇年後に肉を持ち、この思いを、ずっと繋いできた私を、今、感じています。二五〇

年後の肉に繋ぐ意識、この思いをしつかりと感じながら、今世の時間を過ごしていきます。今世の時間は、だから喜びです。

心の中に、ただ一点、田池留吉、アルバート、その宇宙を見つめながら、肉の生活を続けていきます。

ずっと、未来を見定め、私は、この肉を終えていきます。

肉は、徐々に衰えても、私の意識の世界は、変わらずに喜びを広げていける、私は、今、そのことを、自分の心に伝えていきます。

思い出していきなさい、思い出していきましょう、そうやって、私は、私に伝えてきました。私は、誠実に自分と向き合ってます。

何をおいても、私は、この自分を思い出したかったです。

心の中に温もりを思い出したかったです。

心の中の安らぎを、本当の自分自身を、今、心に感じています。

一九九、地球に思いを向けたとき、地球は、自らの軌道を変えていく、私の心から、淡々とこ

のような思いが出てきました。

地球自ら軌道を変える、そうですね、そうやって、地球上に大規模な天変地異が起こってきます。

そうすると、たくさん陸地が、島が海の底に沈んでいきます。

かつて、私達が体験してきたそれ以上の天変地異が起こってきます。

かつて、私達は、大きな大陸が沈んでいくときに、それぞれ、どこかで肉を持ち、その体験をしてきました。

その体験を遥かに上回る天変地異が、これから、二五〇年、三〇〇年の間に、起こってきます。大陸が沈んでいくんです。一瞬のうちに沈んでいきます。

地球自ら、その軌道を変えるのです。すごいエネルギーです。すごいエネルギーが宇宙に、意識の世界に働いていきます。

それは、本当に想像を絶するほどの規模で、宇宙全体に促されていくのです。今のような規模の天変地異ではないことは、明白です。

これから、地球上に肉を持つ意識達の多くは、大変な心の体験を経していきます。だからこそ、私達と二五〇年後に出会ったときに、茫然自失のままの意識の世界に、自ら衝撃を与え、自らを目覚めさせていけるのです。

宇宙とともにやってくる天変地異です。今、宇宙の中で、大きな役目を果たしてくれる地球を思っています。

二〇〇、田池留吉を思えば、宇宙、宇宙を思えば、田池留吉、そして、天変地異という大きな喜びのエネルギーに繋がっていきます。

三億六千年、いいえ、それを遙かに超えた時間の中で、田池留吉という真実の世界に出会えたことは、本当に何にも代えることのできない出来事でした。

私は、この肉という形を通じて、これまでの年月ともに学ばせていただきました。そして、私は、確かに今世、自分の心の歴史を塗り替える出来事に出会ったのです。母の意識と出会い、宇宙に向ける瞑想、田池留吉、アルバートを思う瞑想により、私の中には、確かな温もりと喜びの世界が広がっている、その世界にある私だと知りました。

しかし、私の感じている田池留吉の宇宙も、まだまだ小さなものだとは認識しています。

ただ、この私の世界を、これから二五〇年後、三〇〇年と繋ぎ、次元を超えていくことは、明らかであり、それはすでに心で感じています。

以上が私の現実です。

私は、意識の流れを心で感じています。その流れの中にある私であり、今という時間だと感じています。

その今という時間を、どうぞ大切にしていきたいと思います。私は、呼びかけています。

地球を思い、そして、これからの時間を思うとき、大規模な天変地異の嵐の中で、自らを目覚めさせる意識達との出会いもあるでしょうが、その一方で、いったいどれだけの意識達がこの宇宙にさ迷い続けていくのだろうかと思わざるを得ません。

せめて、今世、学びに繋がってきた人達は、自分のその人生を喜んで閉じていただきたい、そして、一人でも多くの人達が、二五〇年後の再会を果たしていただきたいと、今、私は、心からそのように思っています。

二〇一、二五〇年後の出会い、そして次元移行へと、その舞台設定は、しっかりとできています。

どうぞ、皆さん、その方向に、半歩でも一歩でも、あなたの歩みを進めていってください。

心を見つめることを、大切にしていってください。自分のエネルギーを知っていく、自分のエネルギーを心で知り、そのエネルギーを心で抱き止め、そのエネルギーに、優しさと温も

りを伝えていく、そのことを、ただただやり続けていってください。

宇宙は待っています。私達は待っています。あなたの中の宇宙を、あなたの欲の思いで閉じ込めないでください。

宇宙の扉を開いていってください。

二五〇年の間に、あなた達の心の中に、宇宙の扉を開いていこうとする大きな衝撃が、何度も起こってくると思います。

どうぞ、私達の思いを聞いてください。私達宇宙の思いを聞いてください。私達宇宙は喜びです。喜びで、あなた達の中の宇宙を開いてくれるのを待っています。

宇宙は、本当にもともと歩いているように感じる喜びの宇宙、エネルギーです。その宇宙が、これからこの地球上の意識達に、そしてたくさんの宇宙にさ迷っている意識達に、目覚めを起こしてまいります。

二五〇年後の出会い、次元移行、舞台設定はすでに整えられている中において、少しでも多くの意識達に呼びかけていこうとする私達の思いを、どうぞ、心で受けていってください。

今のあなた達の感じている喜びと幸せは、本当にちっぽけなものですよ。

本当の喜びと幸せは、そんな小さなものではありません。

遙か遙か彼方からやってきたあなた達の心の中で、本当の喜びと本当の温もり、そして本

当の幸せを知っていかうとする思いと出会っていくこと、それがあなた達の仕事ではないでしょうか。

二〇二、瞑想、ただ思う、それが喜びです。思えば喜びです。

目を閉じて、こうやって、田池留吉、アルバートとともに学ばせていただいていること、喜びです。

静かに、目を閉じて、田池留吉を思う、アルバートを思う、そして宇宙を思います。ただ思います。嬉しいです。過去も未来も喜びでした。

私は、優しい中にありました。本当に温もりの中に存在していました。

異語とともに、私の世界が広がっていきます。異語を語っている私は、喜びです。幸せです。そこには、何もありません。ただただ、ともに喜び合える私があるだけです。

すべての宇宙とともに歩みを進めていくこと、田池留吉、アルバートの宇宙、そして母なる宇宙へ歩みを進めていくことが、それだけが喜びなんです。こうして、これからの時間を過ごしていけることが喜びです。

私の中の宇宙が語ります。宇宙は喜びを伝えてきます。宇宙を思えば喜びです。

ありがたいの思いが響いてきます。ありがたい、本当にありがたい、そして、ともに存在しています、喜びをありがたい、そんな思いが広がっていきます。

二〇三、田池留吉という意識が肉を持って、意識の流れを伝えにきてくれた現実を、喜びで受けていけるあなたであってください。

地球上のあらゆるところから、たくさん喜びのエネルギーが噴き出していきます。

もちろん、人々の心の中からは、凄まじいエネルギーが、さらに、さらに、吹き荒れるこれからです。到底、考えられない行動を起こしていきます。すべては、真実から遠くに離れた意識が織り成す世界が現象化していきます。

心に握ってきた他力の神々のエネルギーの呪縛から、自分を解き放つ難しさを、嫌というほどに体験していく時間が用意されています。

意識の世界を感じていけばいくほどに、喜びの世界が広がっていく一方で、その現実もしっかりと心を感じられると思います。

そして、だからこそ、自分の心を見つめる、見つめられる今という時を大切にしていって

ください。

本当の喜びと本当の温もりを知らない意識達が、様々なルートを辿って、様々な形を通して、自らの苦しみを訴えてくるこれからの時間です。

どうぞ、臆せずに、あなたの心で感じている優しさと温もりで、応えていってあげてください。ともに苦しみに落ちていくのではなくて、ともに喜びを感じていこう、そのメッセージを、心から流せるあなたであってください。

二〇四、私の瞑想の始まりは異語です。異語で私は、宇宙と交信し、その思いを確認しています。宇宙と交信する、異語で交信する私の中は、喜びです。

異語は喜びを伝えてきます。宇宙と交信できる私は、今、喜びです。宇宙が変わっていく喜びを私は、これからも伝えていくと思います。

田池留吉、アルバートの世界、その宇宙は喜びなんです。田池留吉、アルバート、その世界を心で感じることは喜びです。欲の思いと合わないことを知っていただく。

ただただ、喜びです。喜びの思いは、喜びの思いとしか合いません。

私は、そのことを伝えます。こうして、田池留吉、アルバートの宇宙を語ることに、喜びです。私の中に、宇宙を語ることは喜びです。

何もありません。ただただ宇宙へ思いを向けることが喜び、宇宙と交信することが喜び、すべてが喜びです。

これから、二五〇年の間、私はこのように自分の中で交信を続けていきます。宇宙からのメッセージ、本当にありがとうございます。

このように、私の心は宇宙に向けることができました。

喜びの宇宙を感じるようになりました。暗黒の宇宙から喜びの宇宙への過渡期にあった今世でした。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。

二〇五、お母さん、私達は、本当に幸せだった。本当に幸せだったよ、お母さん。そんな思いが、さ迷い続けている宇宙達から伝わってくるのが嬉しいです。優しい思いを向けていけば、宇宙達が応えてきます。

お母さん、ありがとう。優しいね、お母さん。優しい。そんな嬉しい思いが響いてきます。瞑想が嬉しいです。心に優しさが広がっていく時間です。

私達は、次元移行に向けて、着々と準備を進めています。宇宙に向ける瞑想を通して、私は宇宙に呼びかけています。

次元移行が意識の流れ、さあ、ともに行こう、私は、宇宙に呼びかけています。

お母さんの温もりを、心に呼び起こすことを促しています。

私は、宇宙にさ迷うたくさんの意識達とともに、次元を超えていくのです。

今、私は、肉を持って、ようやく自分の中の本来の意識に目覚め、その呼びかけを、これまでともに苦しみ喘いできた仲間達に伝えていけるのです。

瞑想の中で、異語を通して、私は、私の仲間達に伝えていきます。

田池留吉、アルバートのメッセージを伝えています。

ともに行こう、温もりの世界へ。お母さんを思い出していこう。そうやって、私は、たくさんの宇宙達に思いを向けています。

私は、宇宙と思うだけで嬉しい。宇宙と思えば、田池留吉、アルバートがあるからです。母なる宇宙の思いを伝えてくれた田池留吉、アルバートがいるからです。

二〇六、アマテラスに心を向けてみました。私の中に、アマテラスを呼びました。

アマテラス、アマテラスよ、心を語りなさい。

心を語ることに、喜びです。喜びで、母に思いを向けています。

私達の中に温もりが溢れてきます。暗い、苦しい中であつた私達、アマテラス、心の中に、今、母を呼んでいます。私達に、しっかりと伝えていただきました。私達、アマテラスも同じでした。田池留吉、アルバート、温もりの世界へ帰りたいたい、心の底から願う意識だったことを、伝えていただきました。アマテラスの心の中にも、その思いがありますよ、そのように伝えていただきました。心からありがとうと申し上げます。

今、私達アマテラスは、この宇宙を見つめています。

宇宙に喜びのエネルギーが流れていくのを、喜びで見つめています。

アマテラスは、ますます変わってまいります。アマテラスの心を心として、存在してきた意識達に、大きな促しを与えていくでしょう。

肉を持って、これからの転生を体験してください。

アマテラスの目覚めは、あなた達の意識の中に、大きな気付きを与えます。形を見れば、苦しいでしょう。苦しい、苦しい転生です。形を持って自らの過ちに気付くために、私達アマテ

ラスは、大きな働きをしてみたいです。心の中に温もりを思い起こすことを促し続けるアマテラスの思いを、どうぞ、これから受けていってください。これからの転生の中で、促し続けま

す。なぜならば、アマテラスは宇宙を大きく変えた意識だからです。

アマテラスの心を心として生き続けてきた意識達に、促していきます。

アマテラスは、神として崇め奉られてきました。しかし、その心の苦しき、醜さ、どうぞ、しっかりとそれぞれのの中で、見つめていってください。

田池留吉、アルバート。ありがとうございます。心をアマテラスに向けてみました。私の中のアマテラスは喜んでいきます。

これからの思いを伝えてくれました。これから、どのようにアマテラスが変化していくのかを、しっかりと伝えていただきました。

意識が現象化するこれからです。そうです、宇宙は変わっていくこれから、宇宙とともに、地球上に肉を持つ意識達に促していくアマテラスの思いを、私は聞かせていただきました。ありがとうございます。

田池留吉、アルバート。心を田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ向けていくこと、喜びです。

喜び、喜びで、私達は宇宙を思います。宇宙に思いを向けるとき、心の中に、何とも言えない広がりを感じます。

心は穏やかに広がっていきます。母の温もりに支えられてきた宇宙、その宇宙の中にある私達です。

どうぞ、どうぞ、田池留吉、アルバートに心を向けていってください。

二〇七、宗教は、心の中に区別、差別の思いを助長させていくエネルギーです。

御仏に仕える者、神の声を聞く者、宇宙のパワーを心に宿す者、そうやって、他と区別し、己を大きくのさばらせてきました。また、祈ることをよしとしてきた心に、祈りを止めなさい、祈ることの空しさを伝えても、そう簡単には、その心を離すことは難しいです。

そのような、土台が腐り切った世界に、私達は、何度も肉を持ってきました。

私達は、土台が腐り切っていることすら、なかなか気付けなかったのです。

そんな時を経て、ようやく今世という時間があります。

それぞれが、自分の中の流れをほんの少しでもいいから、変えていってください。変えていけるような時間を過ごしてください。

二〇八、宇宙が語ります。宇宙に思いを向けると、宇宙が語ってきます。

宇宙の喜びが語ってきます。とても、とても大きな喜びがあります。

宇宙の中に、大きな、大きな喜びがあります。

私、田池留吉、アルバートに、心に向け、そして、宇宙の喜びを語っていきなさい、そのよ
うなメッセージが来ます。

田池留吉、アルバート、ありがとうございます。田池留吉、アルバートを思えば、宇宙。宇宙が広がっていく、そんな中に、今、心に向けています。優しい、優しい、温もりを感じます。私達はひとつ、そんな宇宙を感じます。母なる宇宙へ帰ろう、そんな呼びかけを、これからも、どんどんどんどん、私はしていくでしょう。

この心の中から、私は、その呼びかけをしていきます。私は、波動として、その呼びかけをしていきます。宇宙に呼びかけをしていく私は、喜びです。こうして、目を閉じて、宇宙に思いを向けるだけで、私は、この思いが、どんどんどんどん流れていくのが分かります。

そうです、宇宙が変わっていくことが、とても嬉しいんです。宇宙が変わっていくということは、天変地異を伴います。それは、人々の心に気付きを、促しを与えていきます。

宇宙とともに、次元移行をしていこう、その呼びかけを、さらに大きく流してまいります。

喜びのエネルギーが、宇宙にどんどんどんどん流れていくこれからの時間を、私は、今、心に広げています。

宇宙が変わっていくんです。とても嬉しいです。宇宙を変えていく、大きな、大きなエネルギーです。それは、田池留吉、アルバートの世界が、この三次元に降り立ったからです。

今、私達宇宙は、その喜びに沸いています。どうぞ、どうぞ、心を宇宙に向けていってください。宇宙を語ることは、喜びです。本当に喜びなんです。暗黒の世界から、喜び溢れる世界へ、私達は変わっていくと、呼びかけています。

心には、何もありません。ただただ喜びがあるだけです。もう何も要りません。この喜びを、大きく広げていくこれから、二五〇年の間です。

そして、私達は、また肉を持って、このメッセージを引き継いでいきます。心を、田池留吉、アルバートに向ける喜びを伝えてまいります。

二〇九、今、田池留吉、アルバートの波動の中で、このように、宇宙を語らせていただけるこ

とが喜びです。幸せです。とても嬉しいです。

ありがとうございます。田池留吉、アルバート、この波動の中で、このように語れること、本当に喜びです。

宇宙は変わっていくことを、私達は、知りました。宇宙は変わっていく、それを伝えていただきました。そう、私達の宇宙は変わっていくんです。

苦しい、苦しい中にありました。覇権を争い、どれだけのエネルギーを流し続けてきたとか。そんなに、そんなに、宇宙は簡単には変わらない、私達は、もう、自分を諦めてきました。しかし、宇宙は変わっていくんですよ。そんな力強いメッセージを心に伝えていただいています。

力強い波動が、宇宙に流れていくんです。本当に嬉しい限りです。

田池留吉、アルバート、本当にありがとうございます。

宇宙を変えていくエネルギーを、私達は、思う存分、これから、心で受けさせていただけます。そして、私達も、ともに、ともに、次元を超えていくことを約束しました。

次元を超えていくんです。とても嬉しいです。次元を超えて、私達は、広がっていく宇宙を感じていける、こんな嬉しいことはありません。

力で制してきた狭い、狭い宇宙の中にあつた私達に、広い、広い世界があなたです、そう

伝えてくれた意識がありました。嬉しいです。温かい、温かい温もりの中に私達はあつたんですね。

母の温もりを、今、心に呼び起こしています。母の温もりに、心を向けていけばいくほど、田池留吉、アルバートの思いが伝わってきます。伝わってくるんです。それは、それは、本当に広い、広い世界です。

力強い世界です。本当に、私達を待つてくれていたんですね。母の思いが伝わってきます。母なる宇宙へ帰ってきなさい、そうやって、私達を、ずっと、ずっと、いざなってくれていた。そんな思いを感じます。

嬉しいです。何と表現していいのか分かりません。ただ、思いが、思いが、心から飛び出てくるんです。それがエネルギーとして流れていくでしょう。

田池留吉、アルバート、ありがとう。本当にありがとう。心からありがとう。それしか出てきません。嬉しい、嬉しい、嬉しい、これからの時を過ごさせていただけます。

二一〇、色々なものに心を縛られ、窮屈な中に生きてきた人間にとって、広い、広い世界が本当のあなたですと伝えても、そんなことは、心で感じない限り、とても信じることはできない

でしょう。

しかし、私達の心の中には、確かに広い、広い世界、温かい温もりの宇宙が広がっています。その波動の世界が私達なんです。私達は、今、そのことをただ伝えていきます。田池留吉、アルバートを信じていくことを、ただただ伝えていきます。

田池留吉、アルバートの波動の中に、私達は、存在していることを、私達は、ただただ伝えていきます。

本当に嬉しいです。温もりの世界、広がる世界、お母さんの懐の中で、何も考えずに、何も思わずに、ただただすべてを委ねていた頃の私達の思いに戻っていきましょう、そう伝えていきます。

それが私達の宇宙です。宇宙は、喜び、宇宙の喜びを、私達は伝えていきます。

苦しい、苦しい、暗い、暗い中に落ち込んできた宇宙、その中で、私達は、今、ようやく、本当の姿を心で感じる時がやってきたのです。とても嬉しいです。これから、二五〇年、三〇〇年、私達は、そのことを伝えていきます。

田池留吉、アルバートの波動の中に、私達は存在していたと、しっかりと心に伝えていきます。

私は、そのことを、今、自分の中に伝えていくことが喜びです。

私の意識の世界は、確実に喜びへ広がっていきます。

田池留吉、アルバートとともに次元を超えていく、その次元を超えた先の私の世界を、今、心に広げています。

楽しいです。嬉しい、嬉しい、喜びの時間を、今いただいています。

瞑想をする時間が楽しいです。はい、肉はあっても肉がなくても、私は同じです。こんな世界が、私の中にあつたことを、今自分に伝えられること、それが、ただただ喜びです。

二二一、心を、田池留吉、アルバートに向けて、心を語るとき、嬉しい思いが広がります。

私の中に、田池留吉、アルバートが伝えてくれたことは、本当にその通りでした。自分の中に喜びが、温もりの世界があつたんです。

そんな私の中を、今、語れることが喜びです。

私は、宇宙の中に、孤独な宇宙の中になりました。暗く、苦しい孤独の中になりました。そんな私が、自分の心を見て、自分を見つめて、自分の中をしっかりと受け止めていったとき、こんなに広い、広い世界、温もりの温かい世界が自分の中であり、それが、私を大きく包んでいたことを知りました。このことを、私は、とても信じられなかったけれど、今は、私は、とても嬉しいです。

こんな私があったんです。暗くて苦しくて寂しい私を、この温かい私が包んでいける今、ともに歩いていける今を感じます。

それが、私には、とても喜びです。どんなに尽くされ、何を持ってても、この喜びに代わるものはありません。

私は、私を喜びにいざなっているんですね。本当にそうでした。

ありがとうございます。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。

二二二、田池留吉、アルバート。私の意識は、宇宙に向いています。

私が宇宙を思うとき、心から、田池留吉、アルバートを呼べばいいんです。そして、心を向けばいいんです。

そうすると、私の意識の世界は、お母さんの温もりを、優しさを伝えていきます。

私は、仕事をしています。私の意識の世界は、エネルギーを流しています。

喜びと優しさと温もりのエネルギーを流しています。

私は、思えばいいだけです。田池留吉、アルバートに心向け、思えばいいだけです。温もりが仕事をする、優しさが仕事をする、その言葉が私の中で信じられます。

そうなんですね。エネルギーとして仕事をするんですね。今まで、暗くて厳しくて荒い波動しか流してこなかった宇宙に、今、喜びのエネルギー、温もりのエネルギー、優しさのエネルギーが流れ、宇宙で仕事をしています。お母さん、心を、田池留吉、アルバートに向けることって、本当にすごいことなんですね。

私の心に伝わってくる優しさと温もりです。そうやって、私が伝えていけばいくほど、私の心に返ってくるものなんですね。今、私は、そのことをやりながら、瞑想を続けています。だから、瞑想がとても嬉しいのです。瞑想をすればするほど、心の中に、嬉しい、喜びの思いが返ってきます。

二二三、自分を見限ってきた心の中に、ようやく、温もりと広がり、優しさと、お母さんありがどうの思いが広がっています。

お母さん、今、私は嬉しいです。自分の中に宇宙を感じています。

宇宙は、私がついていた世界でした。地球上で転生を繰り返してきた心の中に、宇宙を待ち望んできた思いがありました。その思いを、今、私は、やっと、やっと、心で語れるようになったんです。

宇宙は待っていました。私の中に宇宙を広げていく喜びを、私は、自分の中で、ずっと待っていました。

宇宙を思うとき、私の喜びは、とても大きなものがあります。

宇宙に帰れる、私の宇宙に帰れる、私の故郷に帰れる、そんな思いが広がっているからです。私は、この三次元の中で、何度も肉を持ちました。三次元の学習を、自らに課しました。私の宇宙に出会いたかったからです。自分の中の宇宙を、もう一度呼び起こしたかったからです。お母さん、もう、その学習時間も、あと僅かです。

私は、再び肉を持たない世界へ行きます。そして、本当に待ち望んできた宇宙へ、自分の心を広げてまいります。

宇宙、私とともにいつもあった宇宙。その宇宙の中に、私は、これからも生き続けていくことを感じています。

遥か遥か彼方に忘れてきた宇宙。宇宙の中に私は、ようやく帰れる、そんな今を感じ、宇宙を思えば嬉しい、嬉しいです。

たくさんの宇宙を心に詰め込んで、暗い宇宙を心に詰め込んで、それでもなお私は、温かい温もりの広い、広い宇宙へ帰っていけるんですね。それを私は、私に伝えています。

宇宙の風 —宇宙からのメッセージ— 第2巻

2010年6月20日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A 会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2010 Printed in Japan